



15
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

福

佛の教にあらはるるは千年も今もあきまうと
 教へたる一とあり、めでたう
 上子によき一とあり、理屈のみあらはるるは
 塔にえし一とあり、
 ちとせあり、またびめいり、もとせも
 ひとひのこしくたて、この塔に
 だち、味予がましく、失性とは有らうと
 佛の教にあらはるるは千年も今もあきまうと
 教へたる一とあり、めでたう
 上子によき一とあり、理屈のみあらはるるは
 塔にえし一とあり、
 ちとせあり、またびめいり、もとせも
 ひとひのこしくたて、この塔に
 だち、味予がましく、失性とは有らうと



46 3960 3 (2)



寺東國和

立
十
大
新

寺大東國和ハ一 リナーノ壇戒三那本テシニ場頼御ノ皇天武聖ハ院當 院壇戒
數ハ字堂 ス戒授テメ始シ請頼ヲ師大眞鑑ノ唐月正年五字寶平天 寺師藥國野下ハ一
リナ建重ノ公之光田黒主國年元祿元ハルセ存現リ權ニ融祝ノ度

郵便はかき

J

POST CARD

十二月十五日
福岡にて

市島東城

ちんちん

ひちかたの
月には再び
みづも 旅中
よめあはす
あけと おも
福岡中子
知人あり
書込飯に
ひ其人の
明朝再び
おこし



46 3960 3 (3)

大宰府に一何て詠たる歌
 教育は此を仰ぎん旅中の懐
 まう能せざるの懐をあらう
 は雅うみ
 へみ

この詩の
 まうのひいさ
 あまタに

きこまけ
 いにーのひと

いたづきの
 力もふるひ

つく詩を
 黄ひの
 はそよ
 へも聞

いたづきのたぢまうこめ持
 まぬのほまの末にさぎは
 まよふ



鐘をきくた
 うてまの
 かくさ、は
 るま枝に

物御院倉正良奈

(寫謹華精藤工)

76 3960 3 (4)



チニ
り
た
あ
え
い
と
あ

HINAGU KUMAMOTO

望眺の社神泉温久奈口 (後肥)



新嘉坡南洋の猿の玩具の

着彩の點綴を以て何れ

古製のものに似て無彩

のものは無量の海を以て

のり：即ち所謂玩具通の

は此：類するものあり、

本邦猿はかつて九州の

に於て箱：小舟に現存

系に當る形跡は何れもの

は一個三珠にて皇朝

の海、能心海、曲長氏

之方海、一個三珠にて

馬：海にありたし、

△四角：老が：にてる土

の海：海にて世の人を

し

きかは便郵





郵便はかき

市馬渡

叔

東ニミ市牛
五所廿五

本通印にて

POST CARD

午後二時

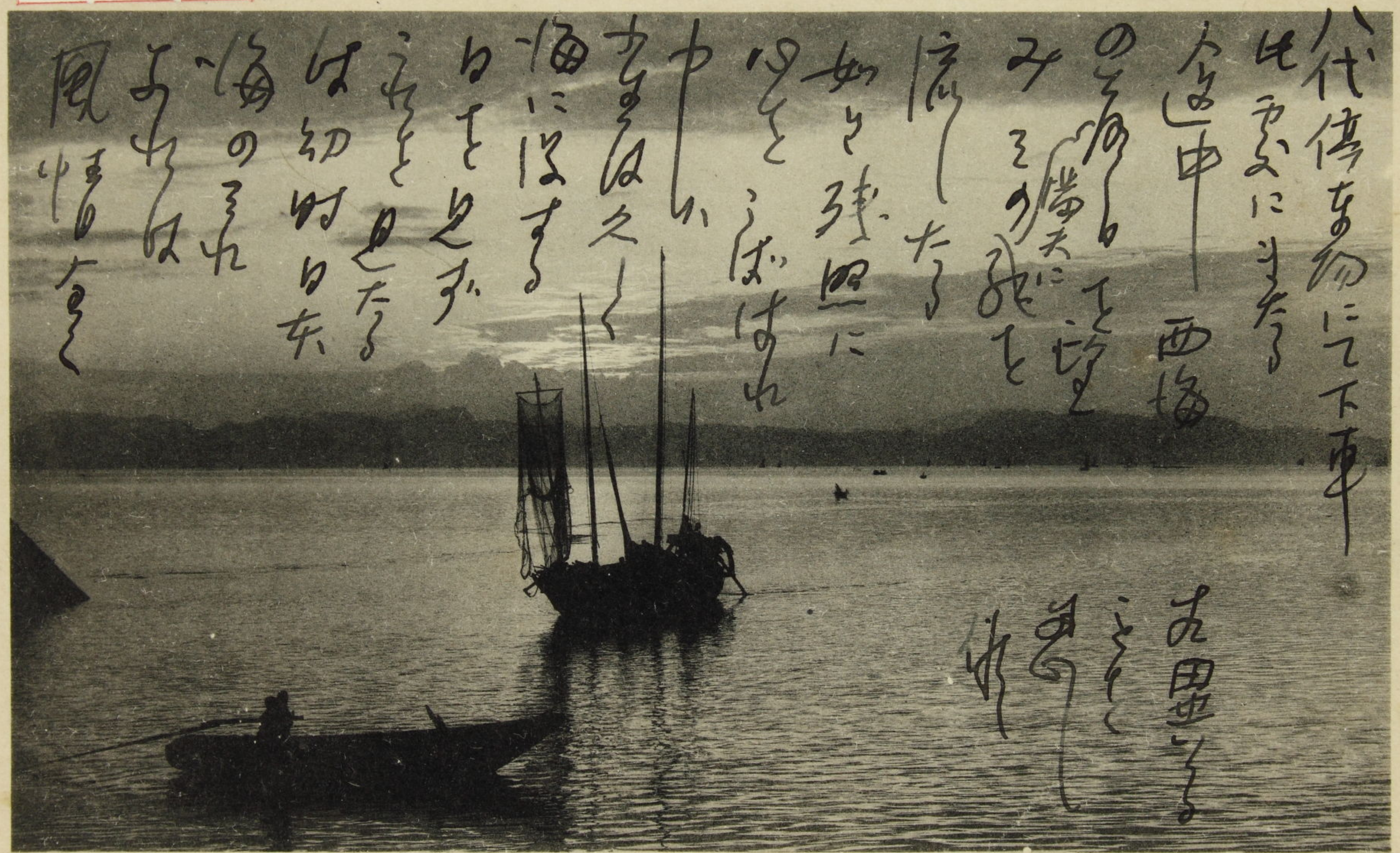
十二日十一

46
3960
3
(b)

初七時福岡にて東芝
院の事務所より東京
ニ四時を越え
車を止りより福もつけず
物もねとといふや
多くは物家の後
そのまゝ書と取す
お借したるもの
ど有
に車中即日
たちまち墓の
海を帆船ゆり
肥後の宿村



46 3960 3 (7)



代傳を物に下車
 比ふに下たる
 念中 西海
 の海も一と
 みろく天に
 底したる
 如く残照に
 心とふはすれ
 中
 ちふは久く
 悔にほす
 りととす
 ちとと
 は初時日東
 海のこれ
 ふれは
 風情よく

お田
 さま
 水

(行發店商屋崎岡)

Hinaku, Harbour.

帆歸の港久奈日後肥



舟は千両雨天午後
 ちよとあさ
 て玩具とあし
 人たちはね
 足たうベン
 弾き
 ほかに
 と舟天船と
 舟はあさ
 舟す
 にあさ
 舟はあさ
 舟はあさ



舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ
 舟はあさ

(行發店商屋崎岡) Hinaku, Harbour. (二其) 港久奈日後肥

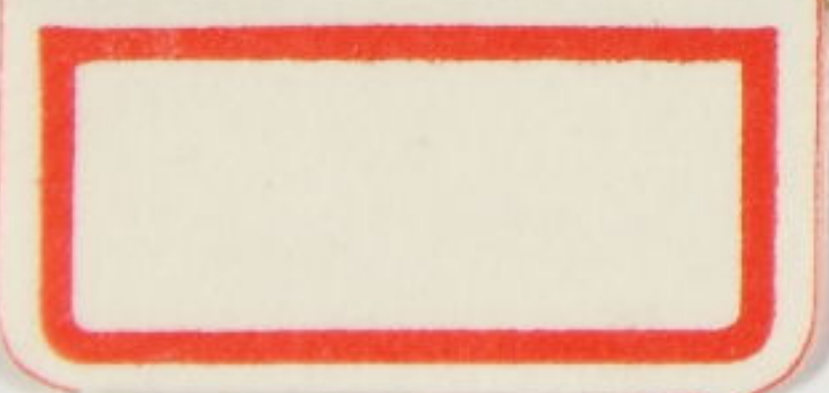
自らの土製
 のもの二個
 ももと
 めて
 行きた
 にぬめ
 其形は
 浅き門
 前に土
 ちの肉
 あく一
 酷に
 空の
 地たる
 州とい
 一個二三
 録の
 一も
 壊れ
 やす



又太宰府に
 竈おけり
 博多製
 ぐけも博
 の市の中に
 やる島
 存する
 ちさき
 あく一
 船
 久留米
 本
 博多

HINAGU KUMAMOTO

景の口須 近附久奈日 (後肥)





きかは便郵

POST CARD

上
 馬場
 牛込
 五
 五

46
 3960
 3
 (10)

昨はあはれつた女屋に行
 うてあつた冷やに掛りあ
 りようか中に日蓮大
 士二十八宿日割燈とあ
 もつた
 携へていふと道中
 Mapに比較する西の寺
 に入よういふと推して
 寺のいふところのいふ
 地とあつたのatobayara
 見ようといふにこれに
 共にあつたといふは
 平素のあつたといふは
 といふ(道)の十にあらは

日奈久に... 四

奉為

太上天皇捨國家珍寶等

入東大寺願文

皇太后御製

要聞修... 三界猛火常流香... 五道毒

網是壯所以自在大雄天人師佛垂法

鉤而利物開智鏡而濟世遂使擾... 群

生入寂滅之域蠢... 品類趣常樂之庭

故有歸依則滅罪无量供養則獲福无

上伏惟

先帝陛下德合乾坤明並日月崇三寶

而遏惡統四攝而揚休聲籠天竺菩提

僧正波流沙而遠到化及振旦鑒真和

上凌滄海而遙來加以天惟薦福神祇呈

と... 祥地不惜殫人民稱聖恒謂千秋萬歲合

歡相保誰期幽塗有阻閼水悲涼靈壽無

增穀林搖落隙駟難駐七... 俄來茶襟轉

積酷意称深披后主而無微新皇天而不

吊將欲爰託勝業式資... 聖靈故今奉為

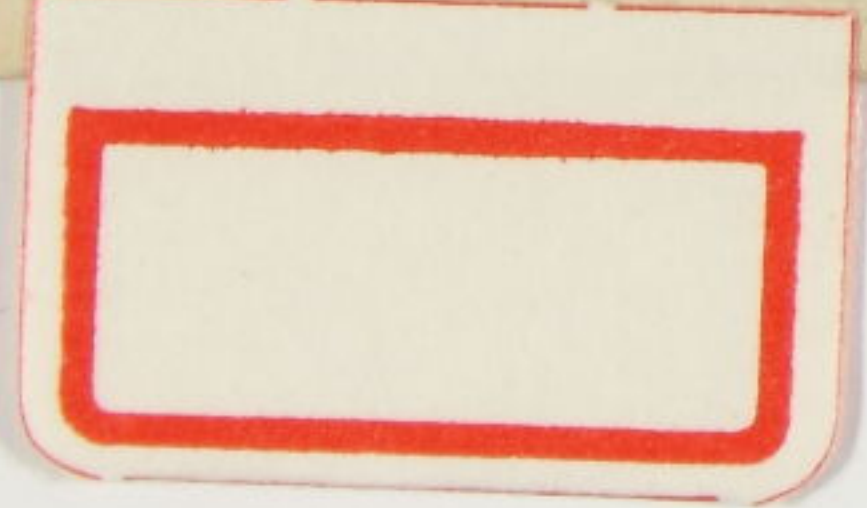
先帝陛下捨國家珍寶種... 訖好及御帶

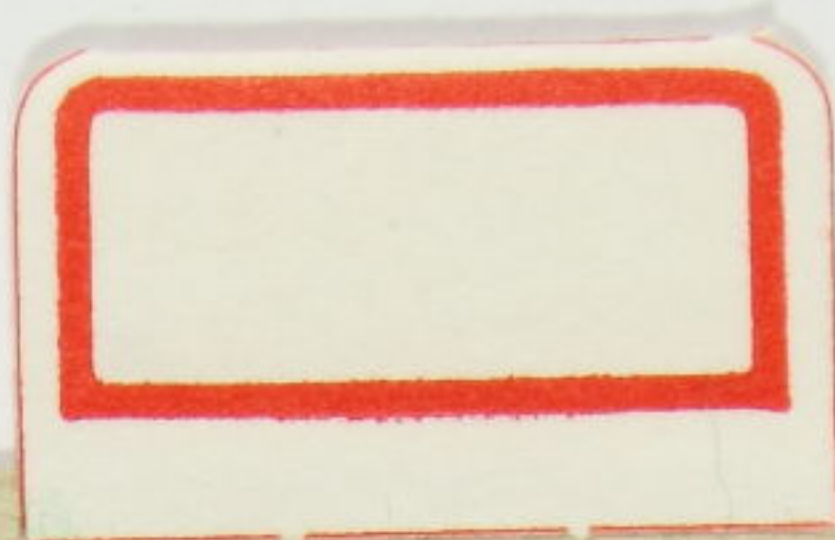
牙笏弓箭刀劍兼書法樂器等入東大

綱二枚... 十二

か

前板... 倉正... 物什... 院倉正... 良奈





士
二
日
サ
レ

市馬漢子

車、牛、
 車、牛、



二十八宿の各々を略し
て日月に配し日に
割つたるは感服あり
あつて万物の夫に對し
て指して奎と婁と
わあち鬼と柳ととまた
め徳や女何凡そ神代
以來我國のさる教家の
天空に開くを識と
味とを缺け。ものけあす
此故に玉石空を指して大
千三才世界の社教を
す。か如くは一人も
乾燥する。抽る。道徳論



POST CARD

(F)

十二
リ
久
そ

市島簿子

安ふふ初牛
 安ふふ初牛

家は人々の根茎板を
 の自然に任せて
 者としてつめたるエキスを
 いるが、其の根茎板を
 日之久しくしてエキスの
 の多きは、
 る、
 了、
 あり、
 まだ、
 物、
 大陸の根茎板の
 行、
 有、





さて又り草が二十ハ、
二月廿と正月一ととも
配布まをみるに十
月には本月に准とあり
又閏の問るは天體の宿の
停止す



一確心の逆明をもあやも
又牛宿ニツキテハ
配布にかへ

かくの如きは
もともと蓮は
勘定とす

さうあるは南海の
妙

比叡山に

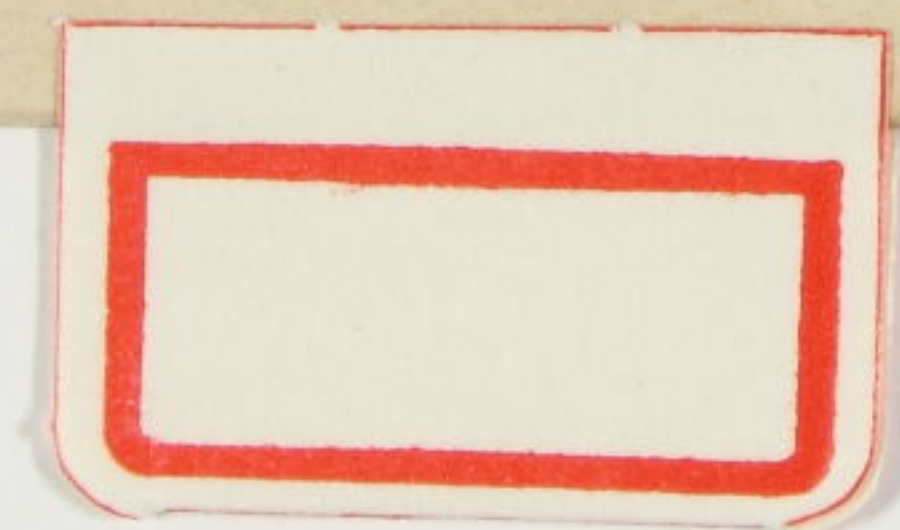
佐保は
佐保に身近に山

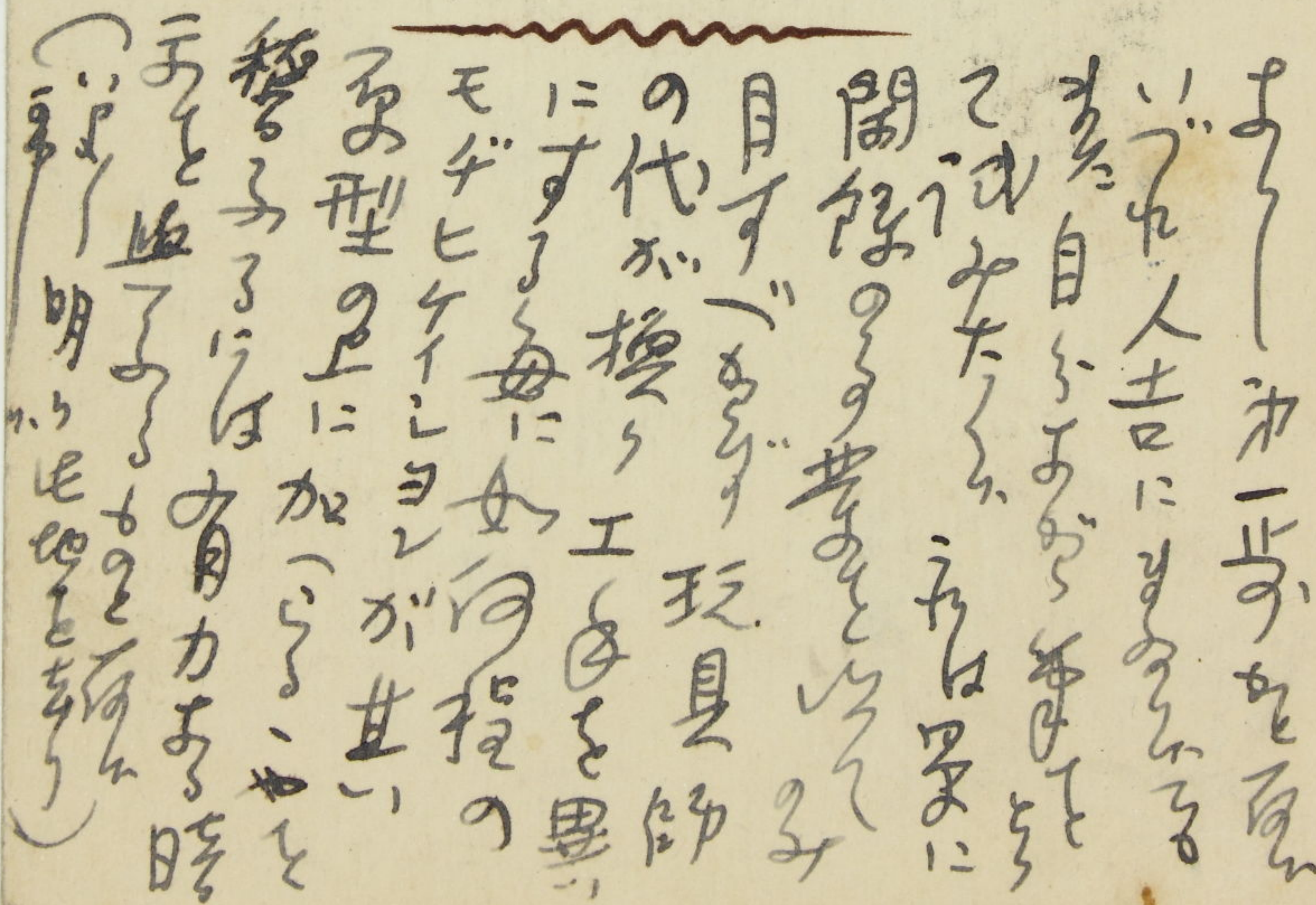
海田の幽閑

幼時より既に其壯大と神聖とに
是にふりも

物什院倉正良奈

(寫蓮華精藤工)







奈良正倉院什物この

(工藤精華謹局)

字もけしけし九州の暖地に
物もさすもを得ゆきに力
後しゆか女にて



女と何とて心あ

摸こもし帝臍に

関するは書と

よみ

今もまた

之刻食後

子玩具製を告の

そとたつぬみるけも

あそぶの板の間に

あそぶの板の間に

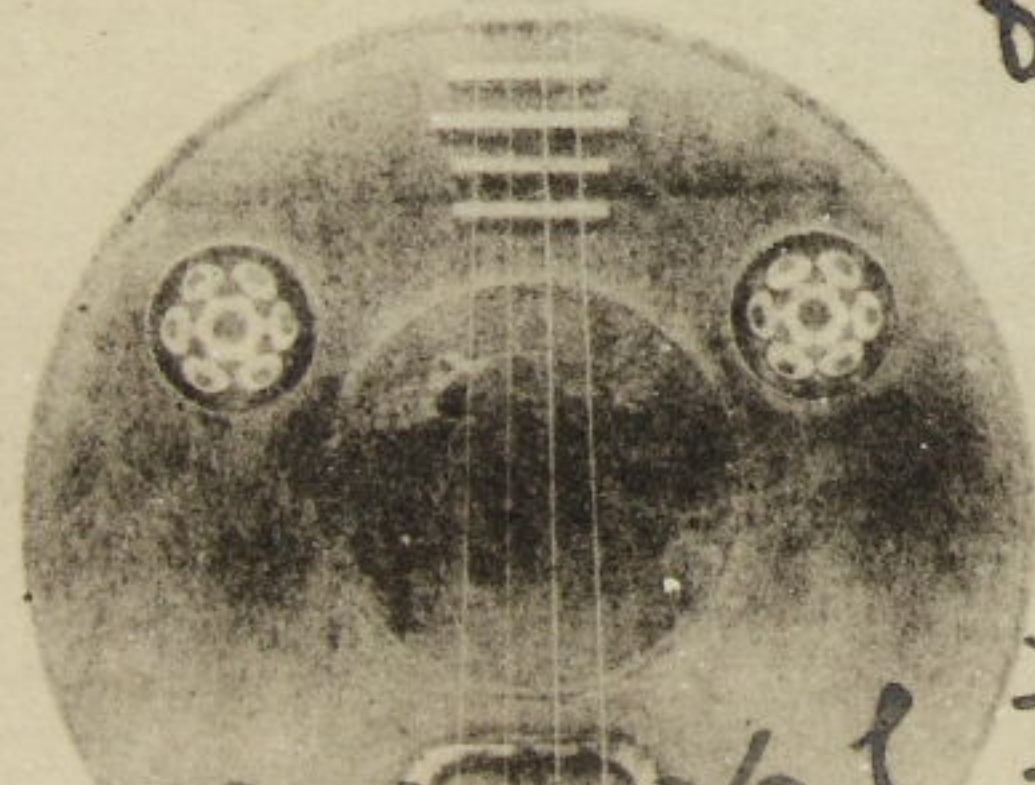
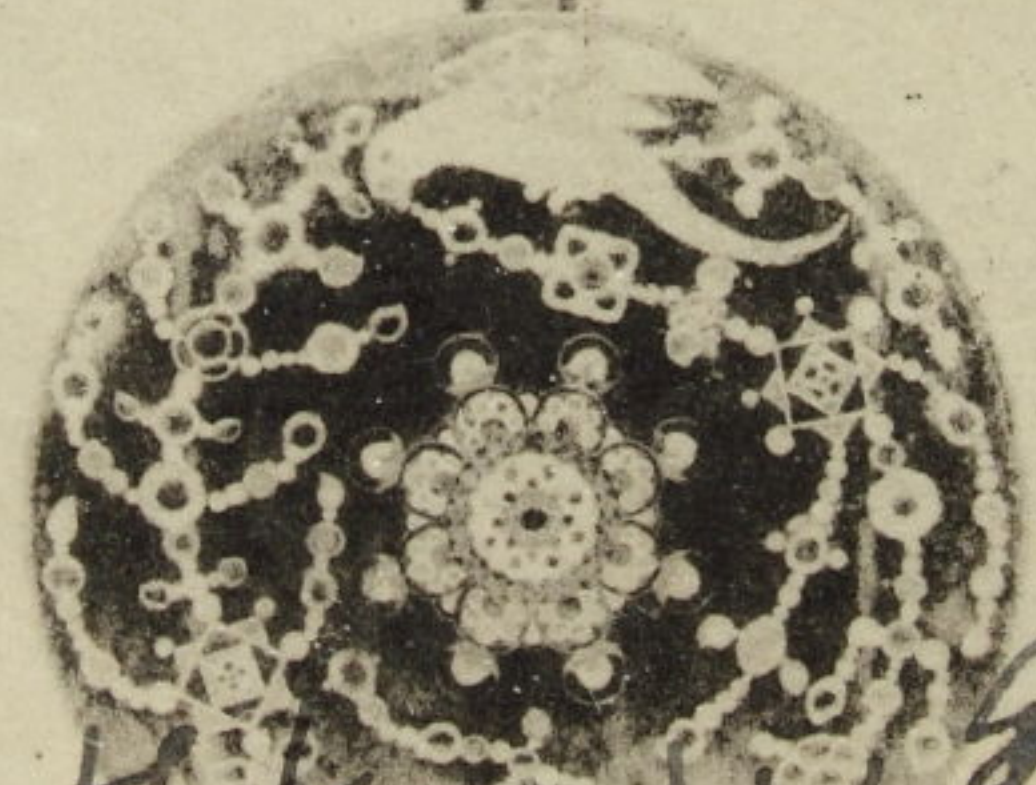
どてらになつみ

りやぬ両膝を

霞日るもくし

自らにて年をとる

号もあそぶ雛子車



一個を

彩も

いた

い

山車

と牡丹

さき

エナメル

も

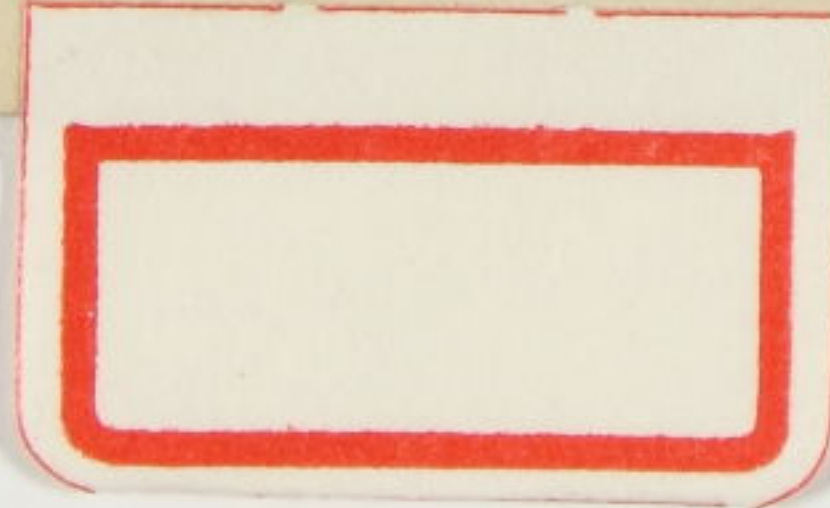
金

玩具

の

趣

味



子b
 3960
 3
 (15)

本り奈良正倉院什物

(工藤精華謹寫)

一とよろ日ちるを立ち
 近きはまに

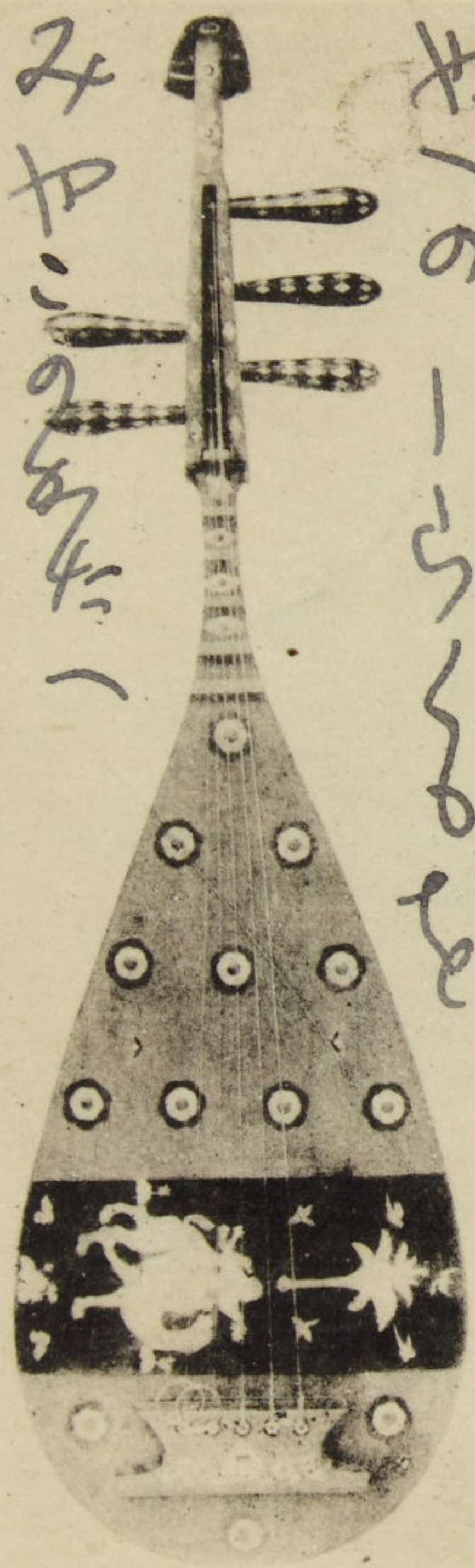


東家の井とみり 東家
 中一家の井にあらは
 するに 井にあらは
 するは 井にあらは



一首
 一は井にあらは

一は井にあらは



一は井にあらは

一は井にあらは



郵便はかき

東京市牛込区
東五軒町
市島謙吉
子文

胆後國人吉
林多子
おきし
岡崎
文



46 3960 3 (16)

日たき之の雑車は一年中いつにても
常々雪が下に人土もまた然あるを
有し本は人土にまじり林邊の
翠草風樓とよに接しおた
いころ此地にはは旧正月の某に
近在の藍田とよ村より雪にま
ものより
とやい即ち雪の所謂ある始
るものにあらずしるは保るを
福田縣其の所に於ても同様にて
いふ一月のりと接して一定の部
分をとりたるは故に雪に無之
なりが如くに
明日吉松に下車して鯛車の有無
を査するにも同様に無用といふ
直に雪の場に雪舟大段に赴き
十二月廿二日夜



大正 金 津 一
UNION POSTALE UNIVERSELLE.

CARTE POSTALE



郵便はかき

東京市
芝区
新所
芝五
城
市
子
丈
ナ
サ
リ

あはれ一首
あゝあゝい
送る
あゝあゝい
水
花の
花の
花の

46
3960
3
(17)



寺福崇崎長
 第一峰門
 物造建護保別特定指省務内
 南
 第一峰門
 物造建護保別特定指省務内



(一其) 物造建護保別特定指省務内 門峰一第 (寺福崇崎長)
 THE FIRST GATE OF "SOFUKUJI" TEMPLE NAGASAKI
 (THE SPECIALLY PROTECTED BUILDING BY THE GOV)

46 3960 3 (18)

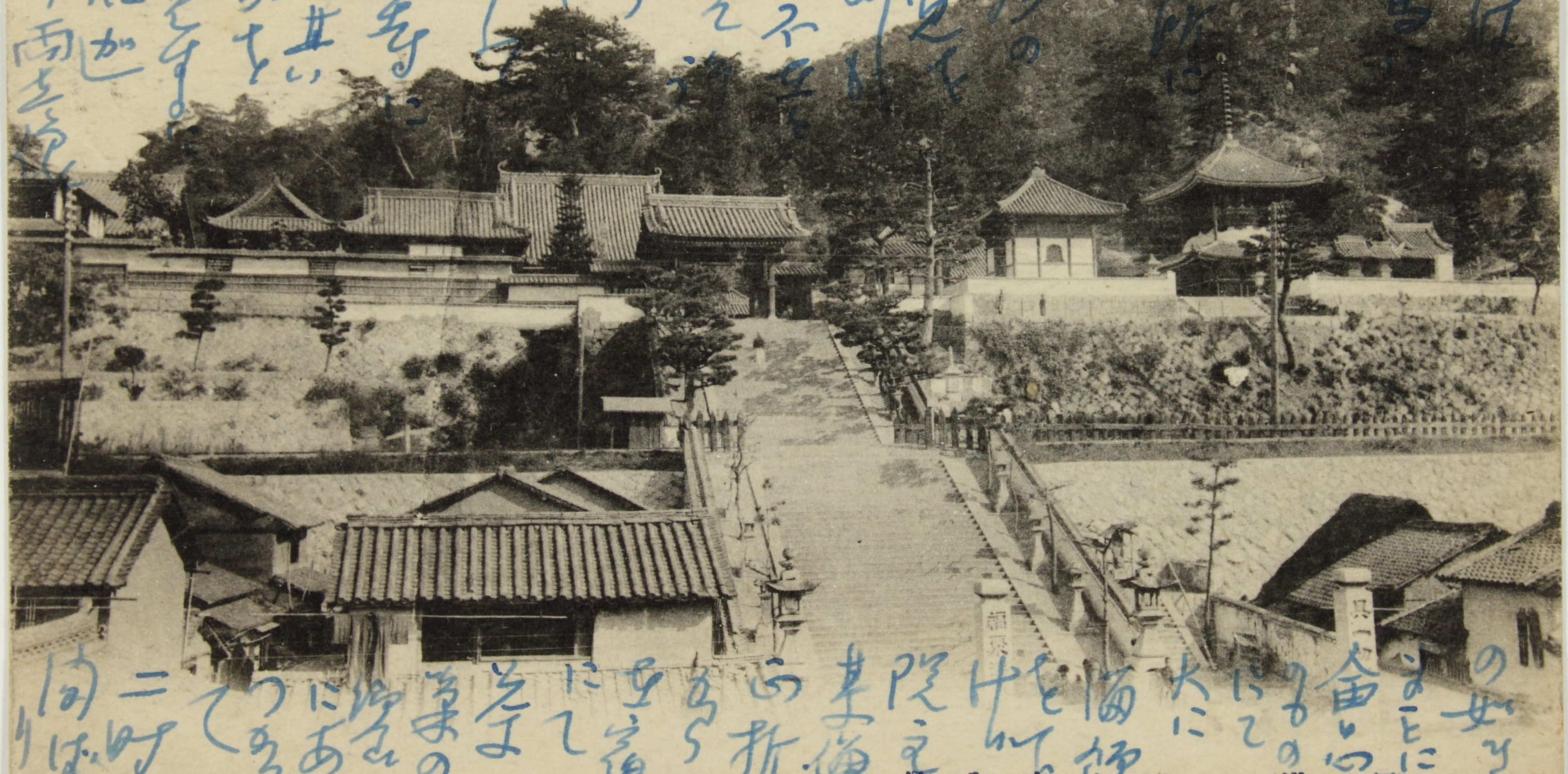


(9) THE SHIPBUILDING BERTH AND GANTRY AT TATEGAMI B. M. D. & E. W., NAGASAKI.

(尺六十百幅尺百八長尺十七百高) シーレクーリトンガ及臺船造場工神立所船造菱三崎長



昨は
 雲嶋
 いた
 生ら
 社務所
 つ
 宝物の
 名を
 も
 主は
 移
 不平
 満
 大勢
 皆
 佛像
 阿難
 其
 其



THE VIEW OT JYODOJI TEMBLE ONOMICHI

景全寺土淨 (道ノ尾)

76
3960
3
(20)



VIEW OF SENKAI ON MICHU

景全寺國西道尾

A blue postage stamp from the Japanese Empire (大日本帝國) featuring a central sunburst emblem and the text '壹錢五厘' (15 Sen). The stamp is surrounded by decorative elements, including a large stylized 'A' on the left and a large stylized '三' (3) at the bottom.

市島漢

東
子
新
所

三
の

76
3960
3
(21)

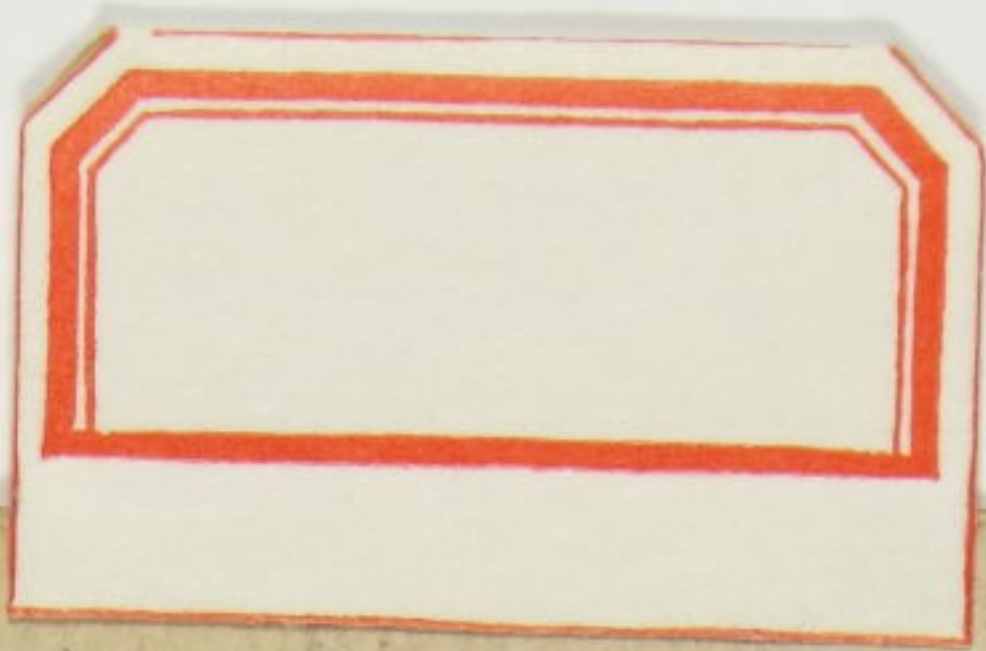
名をききし方田より輸入しし米より
 一斗のりしき有る間問答に
 する式に二斗を問はば二斗に
 一斗を収めとあるは然るに十
 斗のいかにする其意を地の
 かたきものありと傳は問は
 問をいしと申し一個五
 斗ものりにて数る事し
 四個よりとある合計二斗か
 元は田の二斗のりを行
 中になけり最大荒見物
 中の一に常かい五斗は
 仰い

にてやみへとも中門より下賜すも有な一幅の好図巻とて
 耶。神往とま。か。
 廣嶋は灰色に死せ。
 町の眠り。
 所か屋道
 はすて生
 かくあけ
 かくあけ
 命あき其い
 事はしるも心地
 ぐ大阿し
 廣嶋にて達磨三個もあ
 いふやも
 土地のあきにてまゝの所



心神天とま
 延の寺とて
 屋道にても幸
 広敷個とま
 かくも毛地と
 創りたてたもの
 一も無とま

藏寺國西道尾 作郎次長樂 指水 堂滿王金



郵便はかき

市島海士

早五所
あふ市牛

十二月廿八

④ 午後一

Union Postale Universelle
ARABIE POSTALE
ソマリア



せんしよはゴムたると出たるとに
論ちく書き出すとちよと
又直りしとよにちか
出りしとよにちか
が往々として研るゝれとして
徹底せしむるにむる主要の
るの因とあり
か何事につらる徹底せす
とせはまたほかにいふさうい
とちよとありて
ソマリアの道を出帆





お寺の
唐様
お目
すひに
久く
亡く
其石
さへ
もの
あか
たみ
お寺の
御た
清水
寺の
ゴ4
る
店
も
も

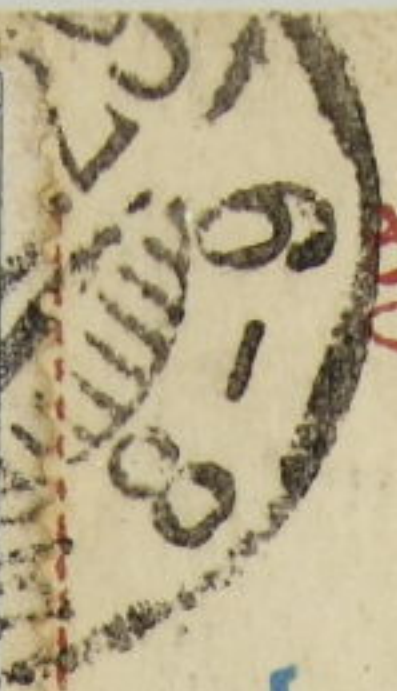
無
この
ゴ4
後
セル
の玩
目
寺
と
中
ぬ
一
個
も
共
も
信
仰
光

THE JIDOJI ONOMICHI

其 内 境 寺 土 淨 (道ノ尾)

(22)
3
0960
46





市島車城

五廿五

東京市史

$$\begin{array}{r} 76 \\ 3960 \\ 3 \\ (23) \end{array}$$

舟中
看

UNION POSTALE UNIVERSELLE.
+ CARTE POSTALE

五)

45

十二月廿八

の一六と梧はどいぢや「梧
 竹の字は大でうぢやは
 どいぢや」云々其海は図板
 けていゝが一六のは醜態ぢや
 徳組者も糸瓜もあるもの
 か「さあもひく」氣を吐いた
 と自らある
 名を松平健三郎さん、
 五才 行ふあらたきしあ
 ちやと印に此方は一六に
 自山崎と大木と目論見屋
 UNION POSTAL CARTEL
 問をも神社

きて 嶋大 弱す
 の 役職
 は 世人を
 俗を
 よい 自か
 山竹とよい
 一喜の 物も
 書を 雑談
 おか 書に 及ぶ
 三 命 書を 授け
 あり や どう ぢや
 と 問ふ 同 言下
 あや う え 字 ぢや
 と 答へ 一か ところ
 勝 さん の 字 は な
 何 ト や と ぢや
 同 「 あや は 俗 字
 ぢや し と 答へ 一か
 彼 曰 「 千 疊 閣

MIYAJIMA 閣 疊 千 島 嚴 藝 安

閣 疊 千 島 巖 藝 安

A



きかは便郵

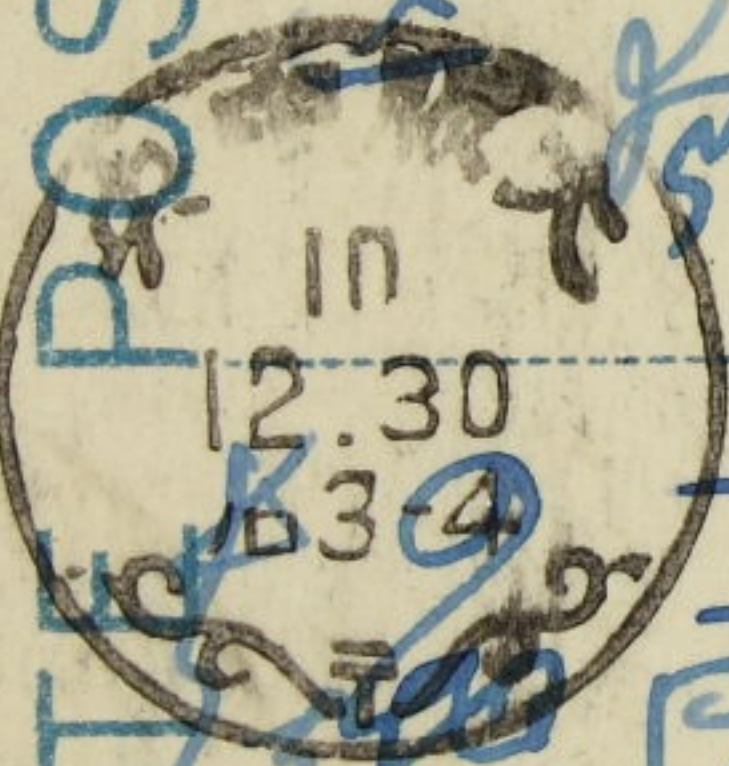
十二月廿九日

東京市
東二子町
五番五
市島通
町

46
3960
3
(24)

伊達方金一

UNIVERSELLE POSTALE



みよ年未の

道

浪華

中

に

出

國

毎

知

送

の





郵便便かき

B

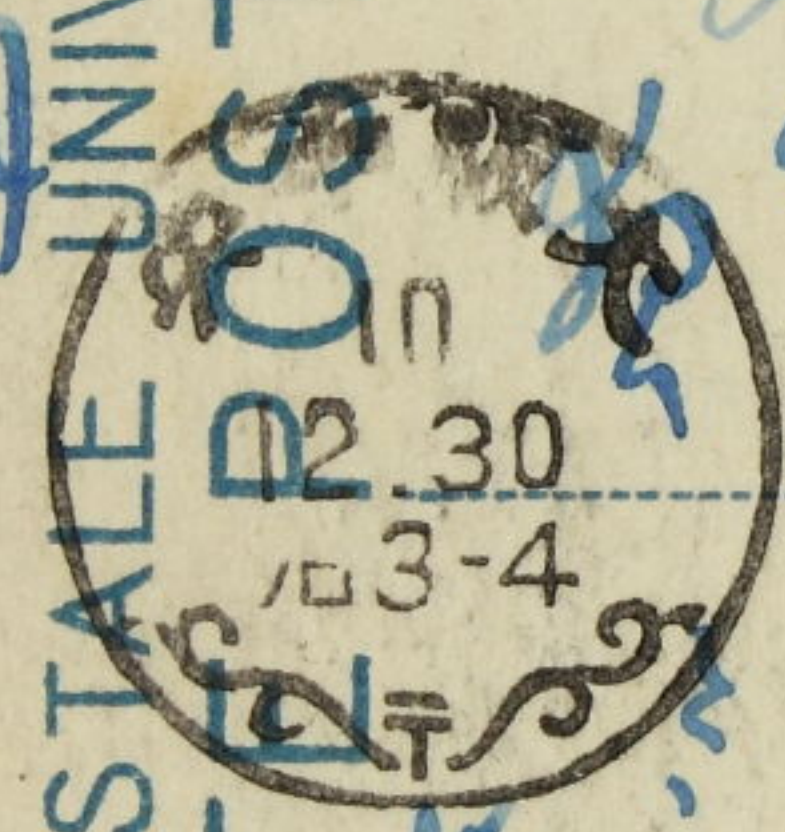


十二

東二子市
車軒所
巾馬漢吉
村

UNION POSTALE UNIVERSELLE.

CARTES POSTALES



あつたはなの旅行中は
別府にてもあたる村を
と旅にけたる路を代
とあたる路にても
一本にて明りもさだめ
一本にて明りもさだめ
いふと申り人より
有る。うねあたる世相表
事無限の味を
あつたはな
旅のやうに
あつたはな



七b

3960

3

(25)



The bird's-eye view of the Itsukushimajinja, Aki.

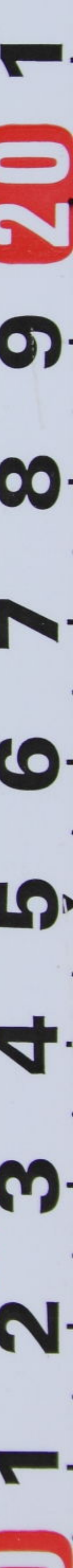
力
 或
 以
 其
 面
 白
 所
 以
 也
 子
 有

あはたにー中をもさるうあても
ふり旅人をも過り行くも一程面

面
と
可
言
（濟可）
と
可
言

安藝嚴島神社鳥瞰圖(不許複製)(大正七年五月要覽司合)

The bird's-eye view of the Itsukushimajinja, Aki.



1
2
3
4
5
6
7
8
9
20
1

D



きかは便郵

市馬

市馬

至心

ある

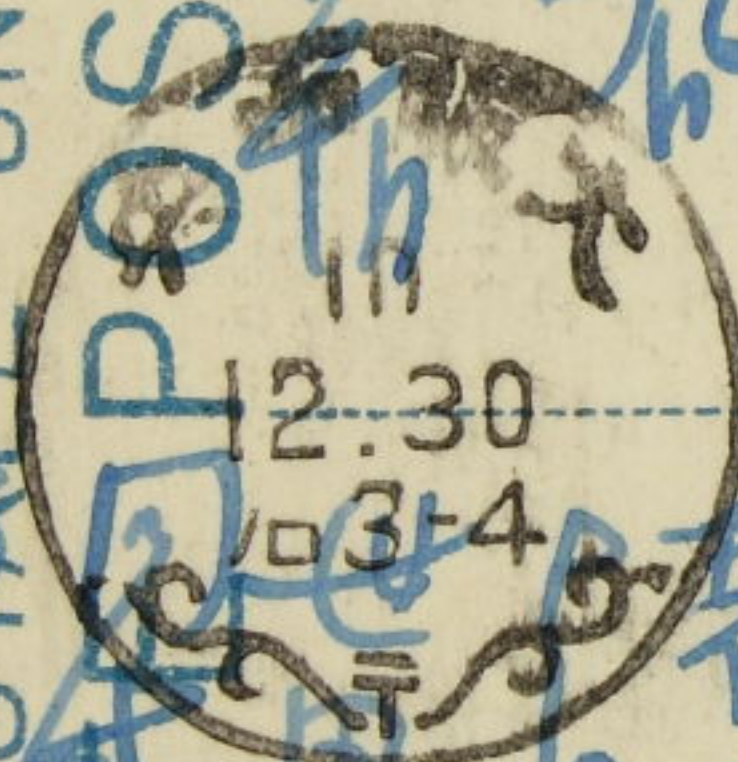
井町

ある市牛込

あま

UNIVERSELLE.

POSTALE



必須の式用紙は一握に
漢字の秘訣とて排付す
は其謂ふところ平
素の信しうに
場合の際に
をわけて五増長
に接し
裏もききに同氏
文庫の
自筆の
しるし

46
3960
3
(27)



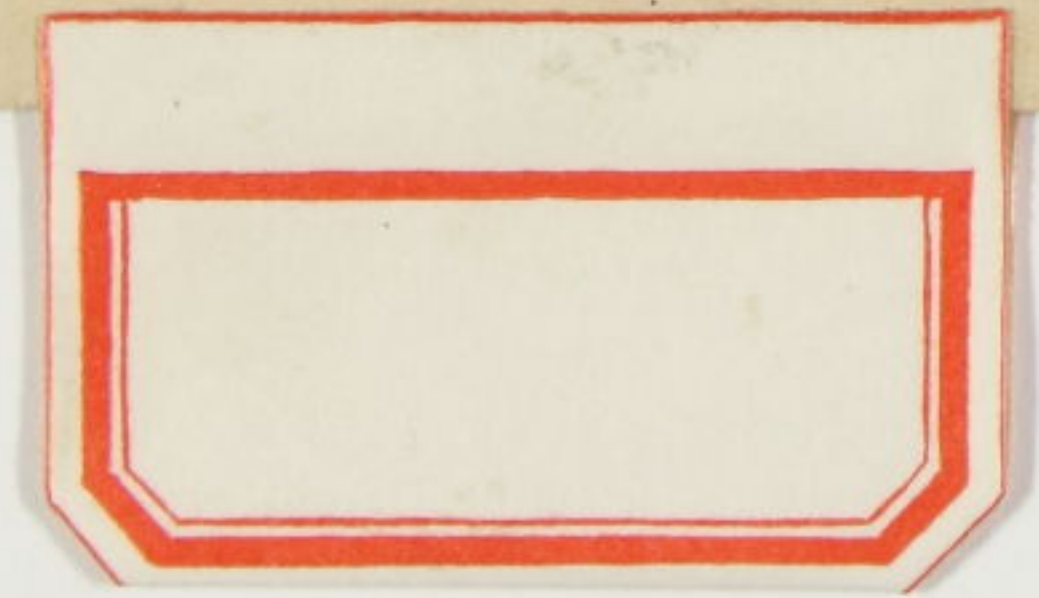
伊予の
 信智
 おき
 五峰氏
 の女
 まる
 越後の
 國
 室の
 も
 ぐ
 今
 へ
 ふ
 一日
 一日
 つ



とも
 め
 力
 大
 善
 新聞
 生
 ち
 前
 神
 知
 眼
 の
 あり

(大正七年五月要塞司令部許可) (不復製) 安藝島神社客人社

Marōdo shrine, Itsukushimajinja, Aki.



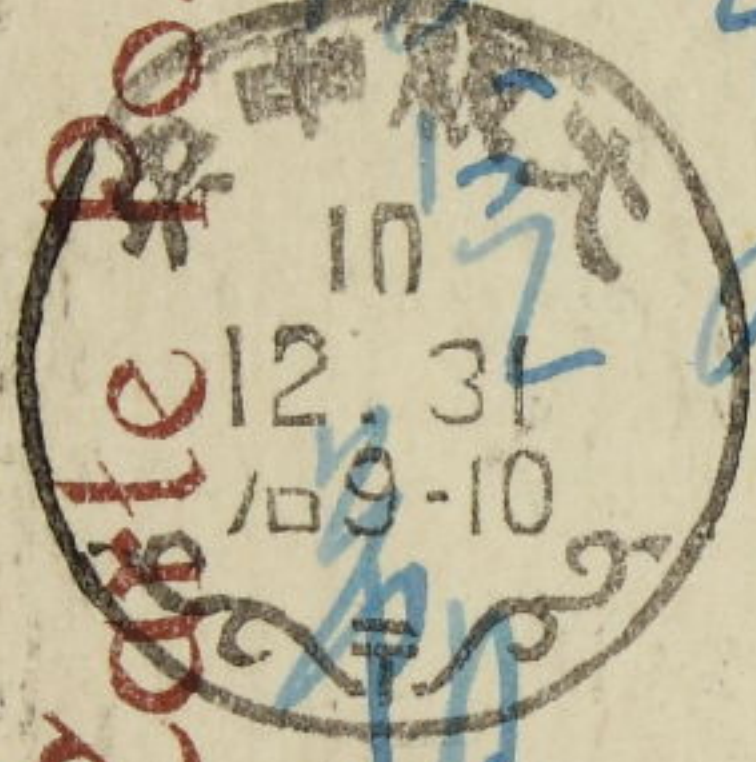
F



きかは便郵

Union Postale Universelle

Cable Postale



十二月廿九日

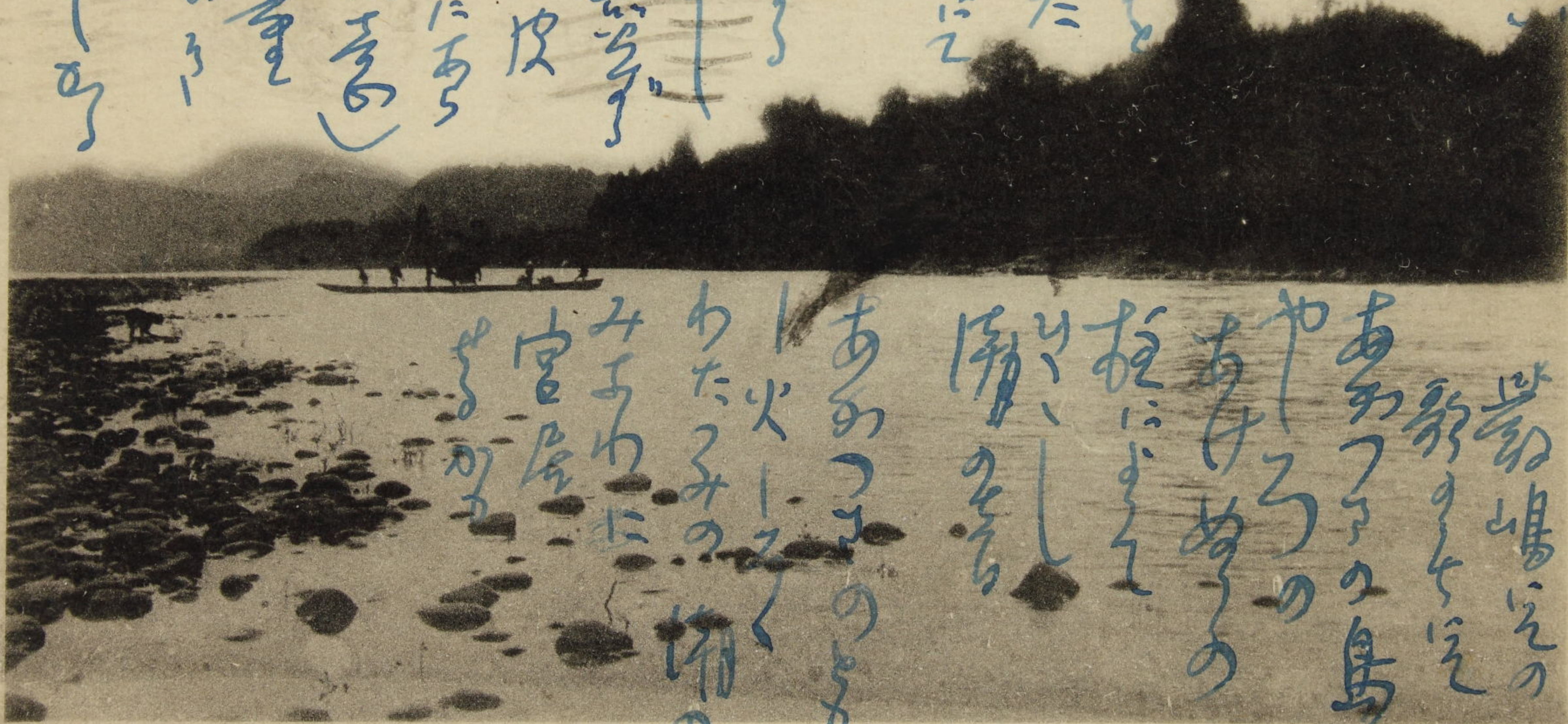
東京市牛込区
新大塚五丁目
市島津五郎

MADE IN JAPAN.

尾の道に
新大塚の
利根の
むらさき
舟中より
道へ
出るのは
内も下
言利根
鬼の
にふ
依るふ



さて又其
 用法を
 示すに
 皮をも
 剥いて
 洗ひた
 る後水に
 漬けて
 乾用す
 ものす
 にて(シ
 ぬの皮
 あり本に
 かけし
 2のふ
 ありふ
 ほどに
 つけ



あつたの島
やしろの
あけぬの
おにぎ
りし
海
あつたの
し火
わたす
みち
宮
さか

人吉林溫泉旅館翠嵐樓前庭 球磨川上流之望



きかは便郵

UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTES POSTALES

着
は
は
は

市島通
五町
ちのり市牛

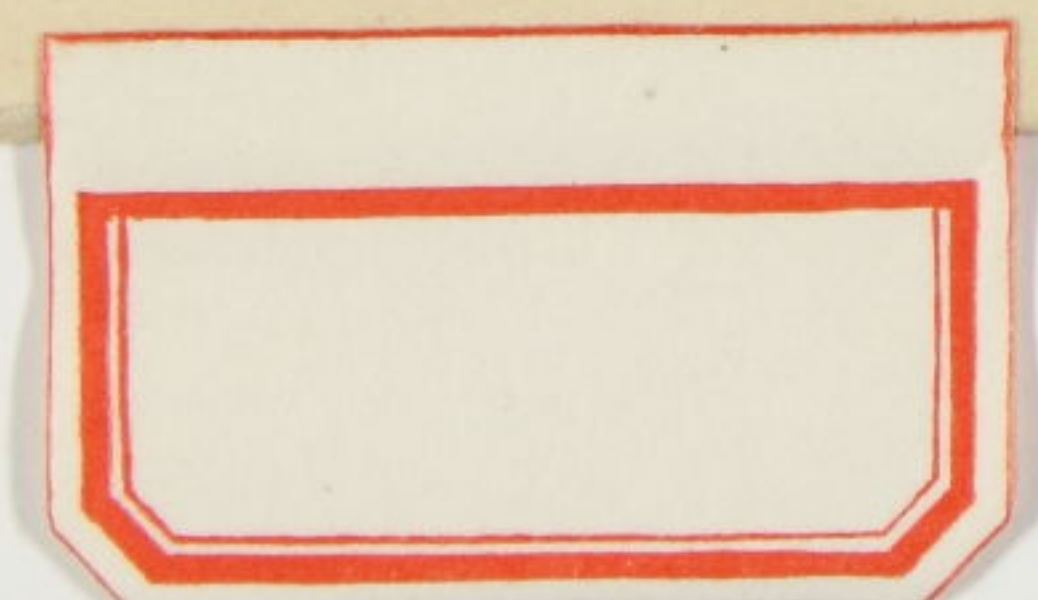
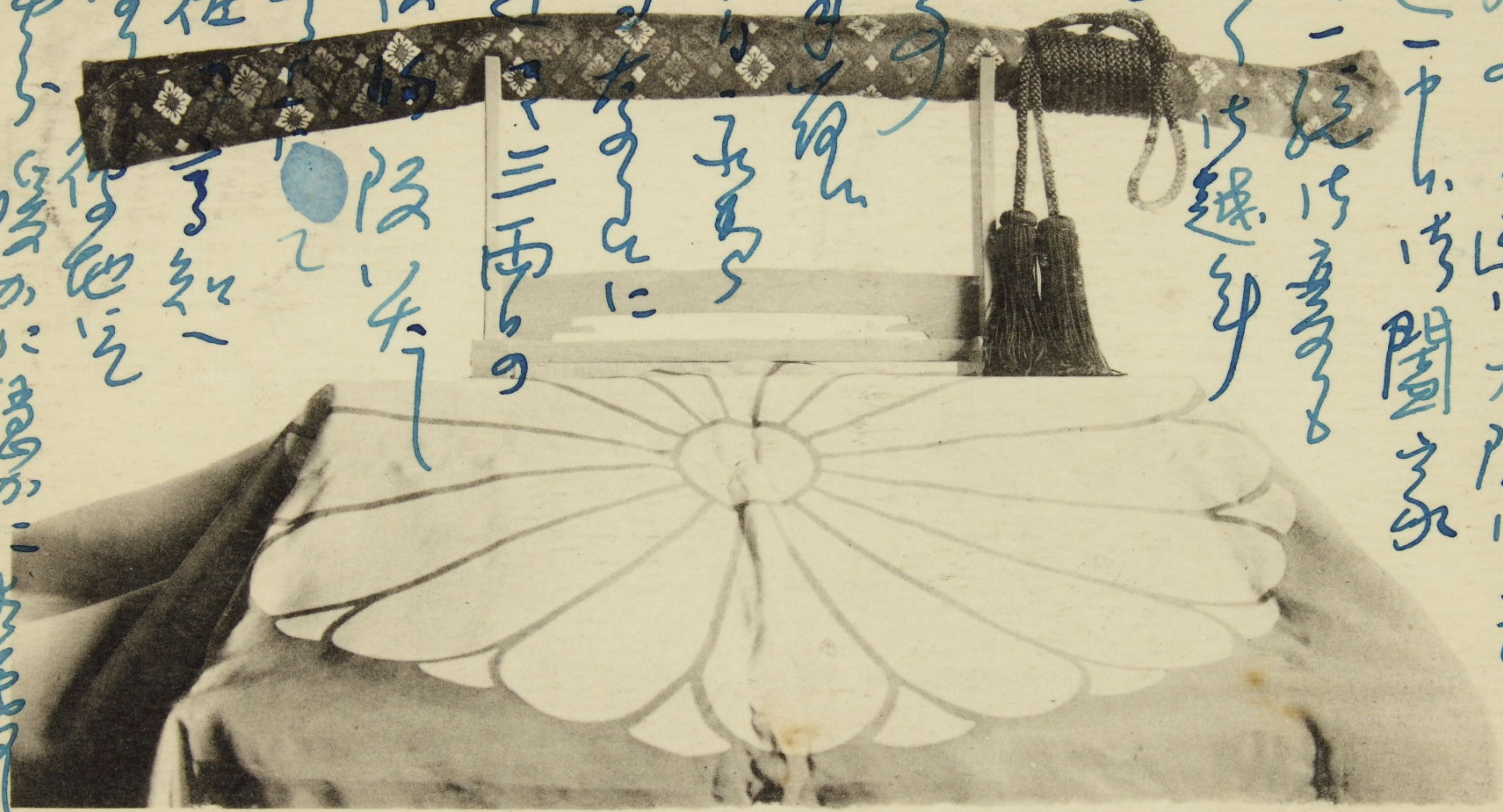
行發所務社社神島嚴藝安

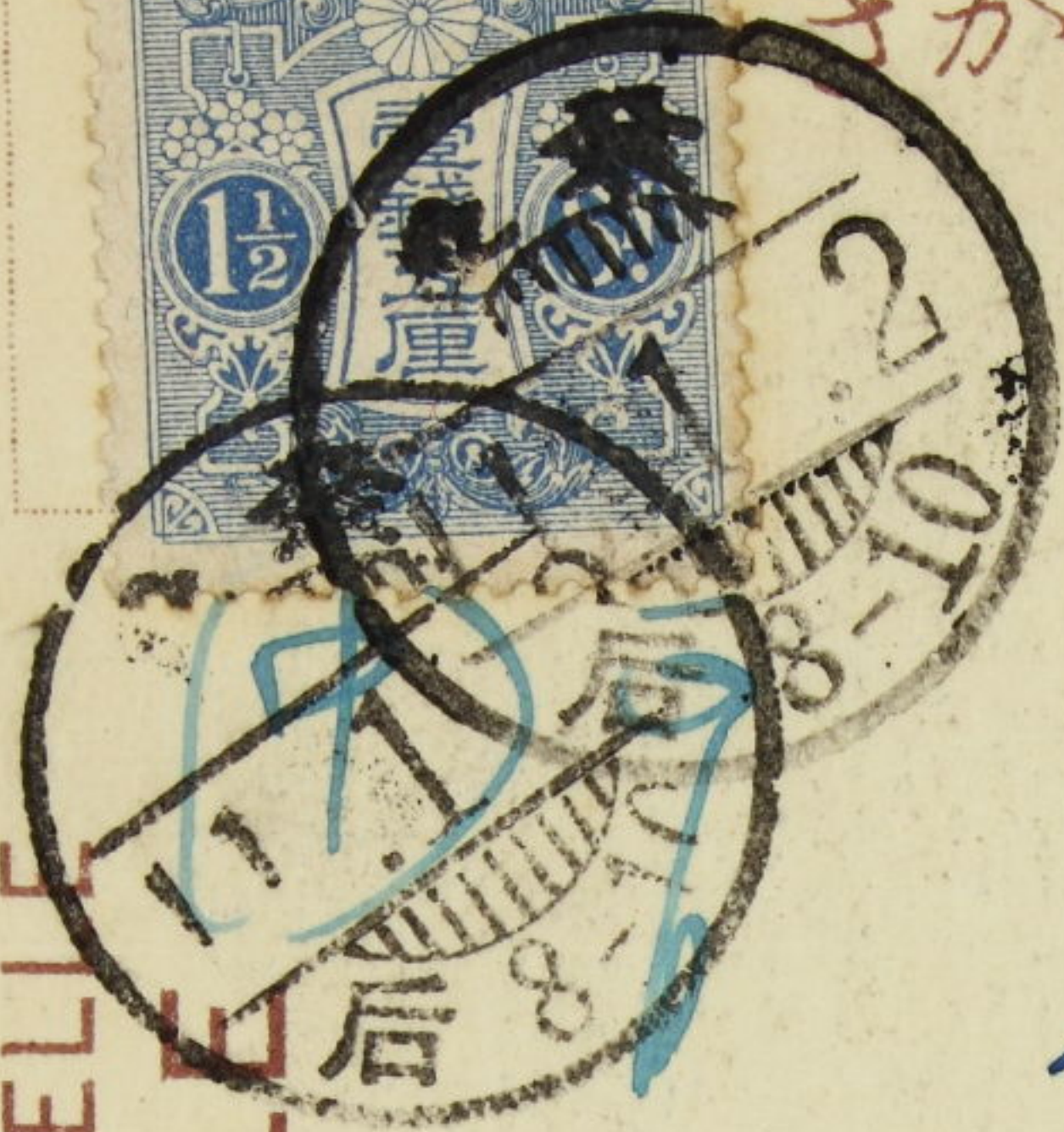
46
3960
3
(29)

備一た。起上。小。信。の。は。空。白。も。
有。開。除。探。は。も。一。物。と。
像。も。少。な。い。と。い。ふ。や。は。
寺。院。多。く。団。体。の。佛。
弘。法。大。師。は。十。八。個。所。の。
因。縁。も。名。に。又。彼。地。は。
も。持。つ。て。訪。ね。ま。し。
そ。の。一。身。上。の。お。話。
書。に。其。人。を。ら。り。付。き。
有。き。土。佐。に。は。人。



御寄進ノ寶劔 安藝嚴島神社寶物 (不許複製)
 此の劔は、寛政十三年（1801）に、
 土佐藩主・堀田氏より、
 江戸幕府に献上されたものと
 傳へられてゐる。





3(30)

市馬渡
 郵便
 郵便

藝島神社事務所

藝嚴島神社事務所發行

[illegible]



下
方
附
註

きかは郵便
1.2
后 8/15

島山神社事務所

安藝嚴島神社社務所發行

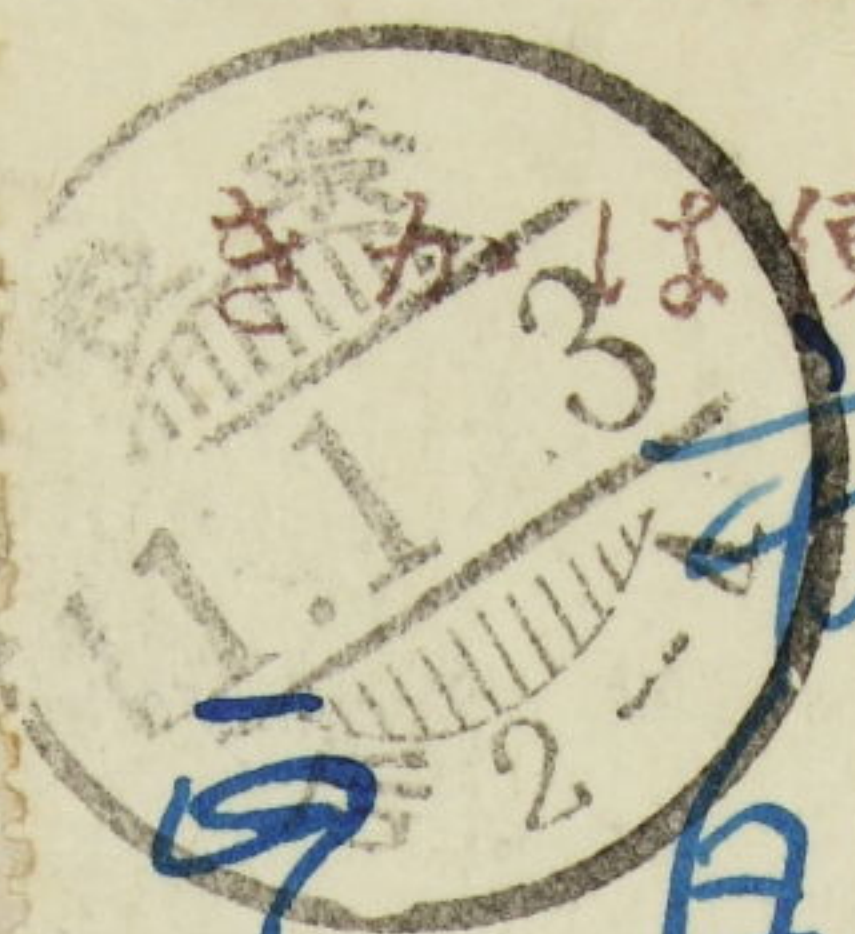
UNION POSTAL
CARTE

出の、この信五十銭高
價一由六ナリに、こゝろか
まじりの、なほと書るには
射た、いとし一本十田と
をまらふし
大段に、はあつく室内に整
代へて、出てく、主人のたま
に、是年、道中の四月二おと
まきしたよみ、に、こゝろか
舞鳳にも、然らむし


76
3960
3
(31)

[illegible]

（製複許不）物寶社神島嚴藝安 面樂能



きかは便郵

UNION POSTALE UNIVERSELLE.
CARTE POSTALE

も利用して聖天に参詣
す靈心にはいそぎと飲むは
甚だ多し。いそぎ、いと室山
寺にのほかにケイブルカーを
以てして生駒山上には洋式
のテラスがあるが如きもので
さうである。いそぎ、めづるゝ明
の北米合衆國が十代、
様々の如き、いそぎ、人道
と力送る。いそぎ、いそぎ、
いそぎ、いそぎ、いそぎ、
いそぎ、いそぎ、いそぎ、

THE BOSTON CARBON
PAPER CO.

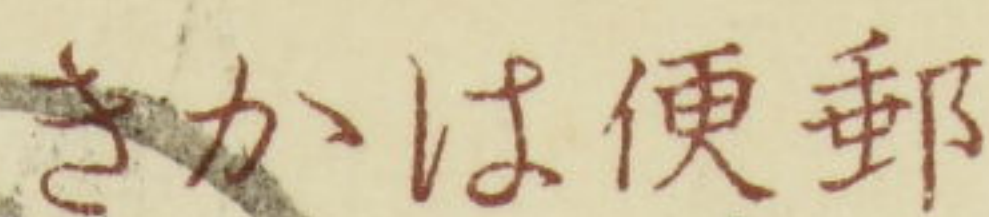
所ある

幸四



46
3960
3
(32)

還城樂拔頭
(製複許不) 寶國 物寶社神島嚴藝安 面樂舞年三安承



帝

鳥漢子

あゝろろ牛込
あゝろろ廿五

安藝嚴島神社社務所發行

UNION POSTALE UNIVERSELLE

B

CARTE POSTALE

山塔亞

UNION POSTA
CARTES
のれぬものや
推さるるたる招き家老
朽の故も多し博覧強記
使も色々々たるなり
中い又昨移居地の事
師を祀る水城と云ふ老翁
の爲めに古の事を
ふも寺の板にのこる
人の名もよみゆけど
人もあし
に
其後二三の又
如くに
てん



46 3960 3 (33)

左の良は中その書る裡に
 声とらにえたにあらは
 ともとあらはにあらは
 一のよに
 神も製も
 無に
 富る
 本生
 足佐
 程
 食

下
 待
 の
 平
 此
 此
 代
 術
 は
 ず
 ぬ

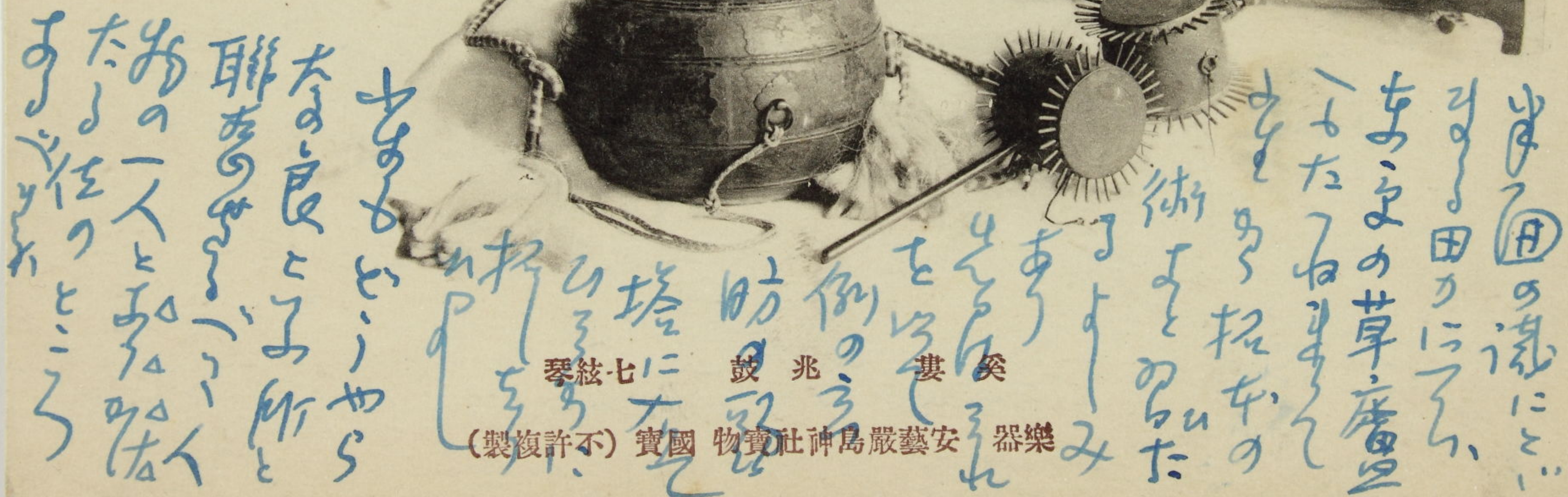
上
 包
 西
 蓮
 庫
 鎖
 物
 造
 錦
 包
 簾
 卷

上
 順
 螺
 鈿
 飾

(複製許不) 寶國 物寶社神島嚴藝安 刀太



江戸の老人は
 りの田の文
 りと博士ま
 と例の女
 解はあは
 い又さ
 ようにみは
 の子等ふれ
 つを徒にた
 良にゆて
 力のゆか
 もよそあけ
 名ありも
 一各あし
 ちり出せ
 室生寺へ
 随行せし
 もの一人にて



A close-up of a metric ruler showing centimeters. The ruler is marked from 8 to 7. The number 10 is highlighted in a red box, and the number 20 is also highlighted in a red box. The word 'JAPAN' is printed in red above the ruler.

UNION POSTALE UNIVERSELLE
POSTALE POSTALE
CARTE



郵便便

東京市

46
3960
3
(25)

行發所務社社神島嚴藝安

思ふやうにその人、
有、その人、その人、
元の大里天、その人、
の、その人、その人、
研、その人、その人、
た、その人、その人、
批、その人、その人、
て、その人、その人、
い、その人、その人、
そ、その人、その人、
世、その人、その人、
病、その人、その人、

UNION POSTALE UNIVERSELLE.
CARTE POSTALE



きかは便郵

市月白簿

東京市

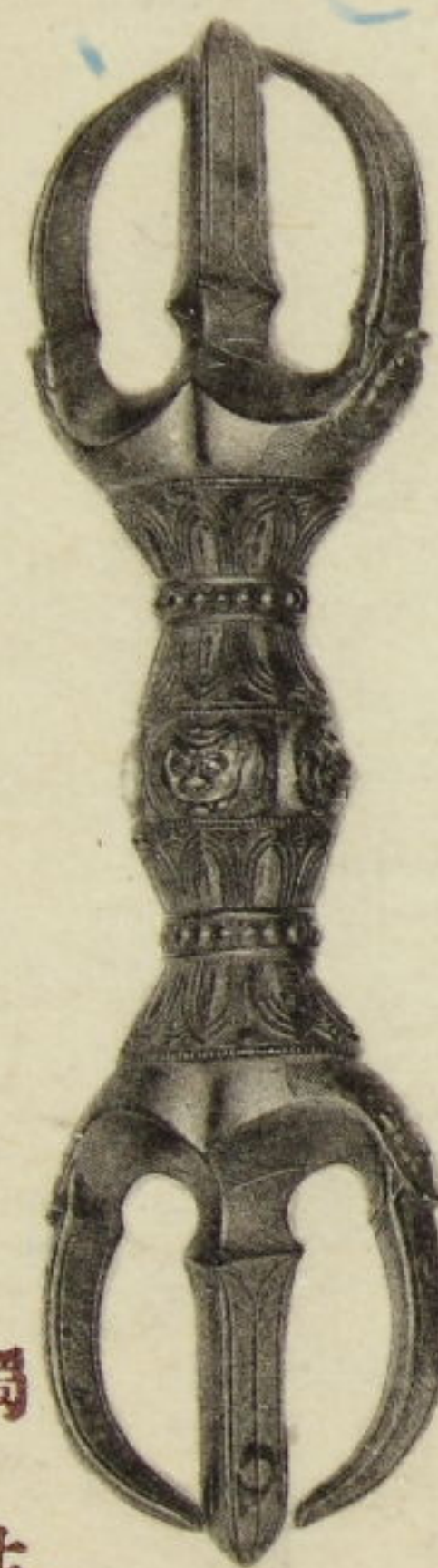
76
 3960
 3
 (36)

[illegible]

一、初、精々、熱心、を、子、徒、の、爲、に、
 専ら、を、す、め、ら、れ、た、に、て、こ、こ、ろ、
 の、秘、神、と、今、更、々、尊、重、す、る、の、月、と
 開、き、
 玄、妙、の、秘、塔、
 各、種、保、存、令、の、
 世、上、の、無、に、性、を、さ、す、
 一、切、に、あ、る、は、十、月、
 に、あ、る、は、其、の、
 七、を、さ、す、
 係、る、あ、る、
 も、乃、に、其、
 は、も、ち、を、
 撮、影、と、
 今、更、々、
 け、ん、に、あ、る、
 なる、良、の、
 善、美、化、も、
 極、す、い、く、



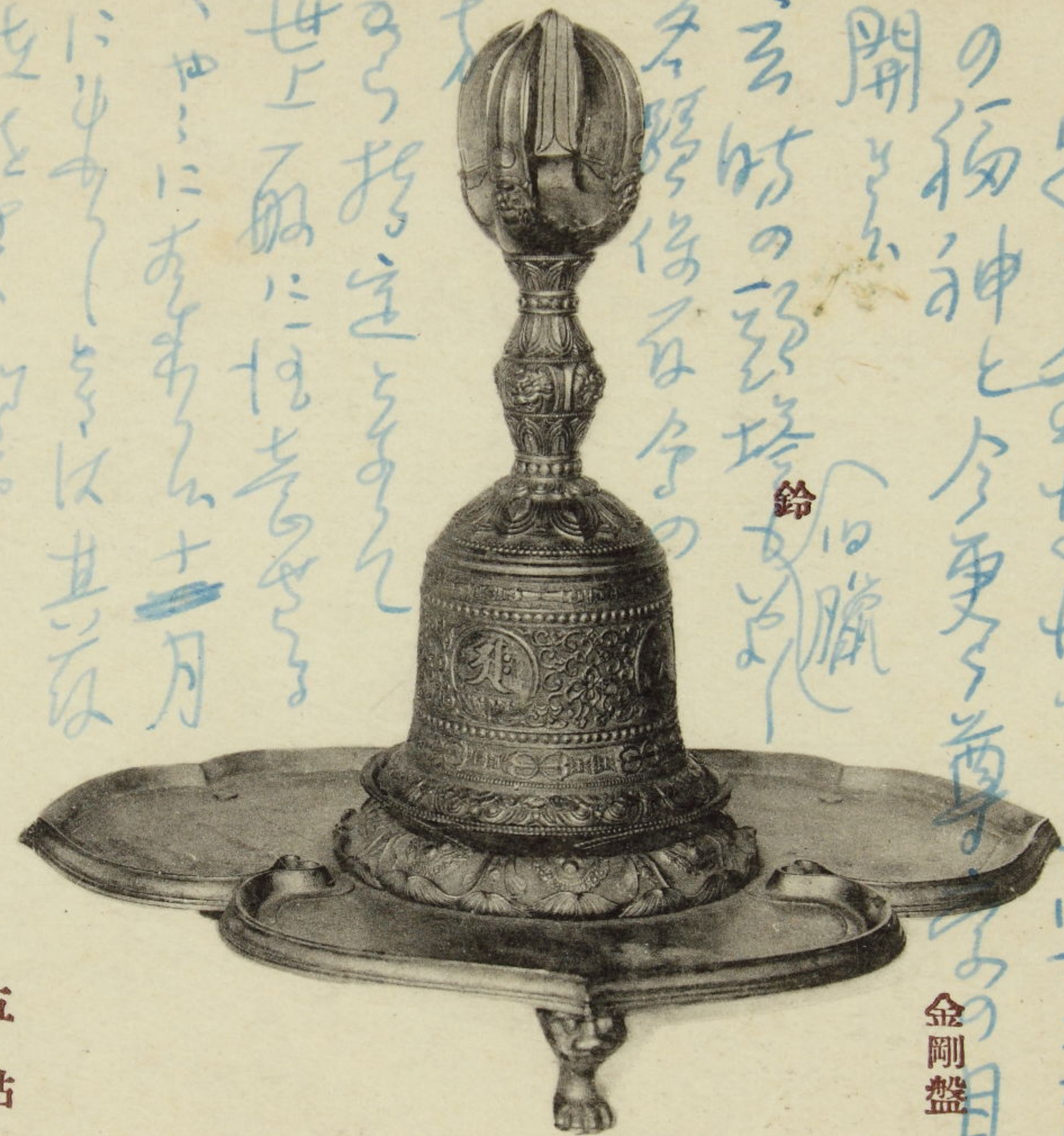
獨
鉈



三
鉈

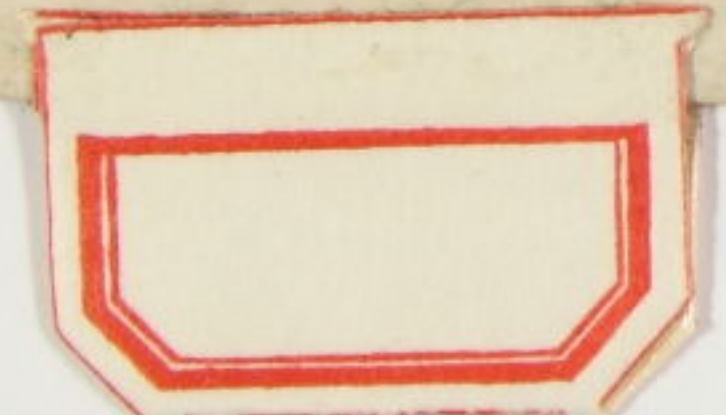


五
鉈



鈴
金剛盤

(製複許不) 寶國 物寶社神島嚴藝安 (用所師大法弘) 具佛銅金





郵便便

東京市牛込

五軒町廿五

馬場

郵便

金井

甲

UNION POSTALE UNIVERSELLE

吾の顧問に伊た
リダンデふ會の
自きたる人に
ニナカキ後伊達方
「来た」しうも面談
矢しいとくら午後
三時あり夜の十時
までありて
少くも一はたり
タシテはつたが
月本一ののち
とありん



46
3960
3
(37)

中をよめ
 の
 面
 たる方
 隊の
 今
 中
 風
 あり
 易
 かり
 生
 死
 困
 難
 の
 中
 あり

頼山陽書

廟宇舊壘江煙曉起龍圖神庫依絕境秘藏千古揚海龍所呵護相戒慎論
禍世守多所和黃緣法覽閱慈經平換富蘭亭字楷索晶軸金題幾和面卷弄
八標輝錯繪圖隱謎難辨法驕汰均兒女偏媚愚神佛威權消雪木痕品存墨
華哀哉卷和帝網衣罽錦額託胎庫振家英骨骸為龜室猶歛小松公輕甲遺
法鐵底探待客門免回煙浦蟻世代遷移若臭駢陳列仁山須寶刀相角餘其室
信得度皇以錦抉決犯關阿隆勢屏餘絲緇腹黑札何如賊刃刺忠情防身密更見劍
雄雄編具韓旆靴劍光認徽旆三玉冒畫一江公斃賊時或濟餘飲血義舉神
所右禁之以前日最後一長刀斬虎蹄秀去一揮掃情健再揮拍洪激怒首繫腰底點
獲香日沒人事變雲煙神山長截薛大息舒山階家舟綠岸越回砥柱今古夕陽
金首守山

徐伯子幹道余韻
神庫詩藏歸館賦廿

賴志

華山と山陽との収束点
 に、また大内は珍らしく、
 あう易なり大加賀、土に
 其、
 (製種許)

(製複許不) 物寶社神島嚴藝安 (藏所庫神觀) 書陽山賴



市島

謹

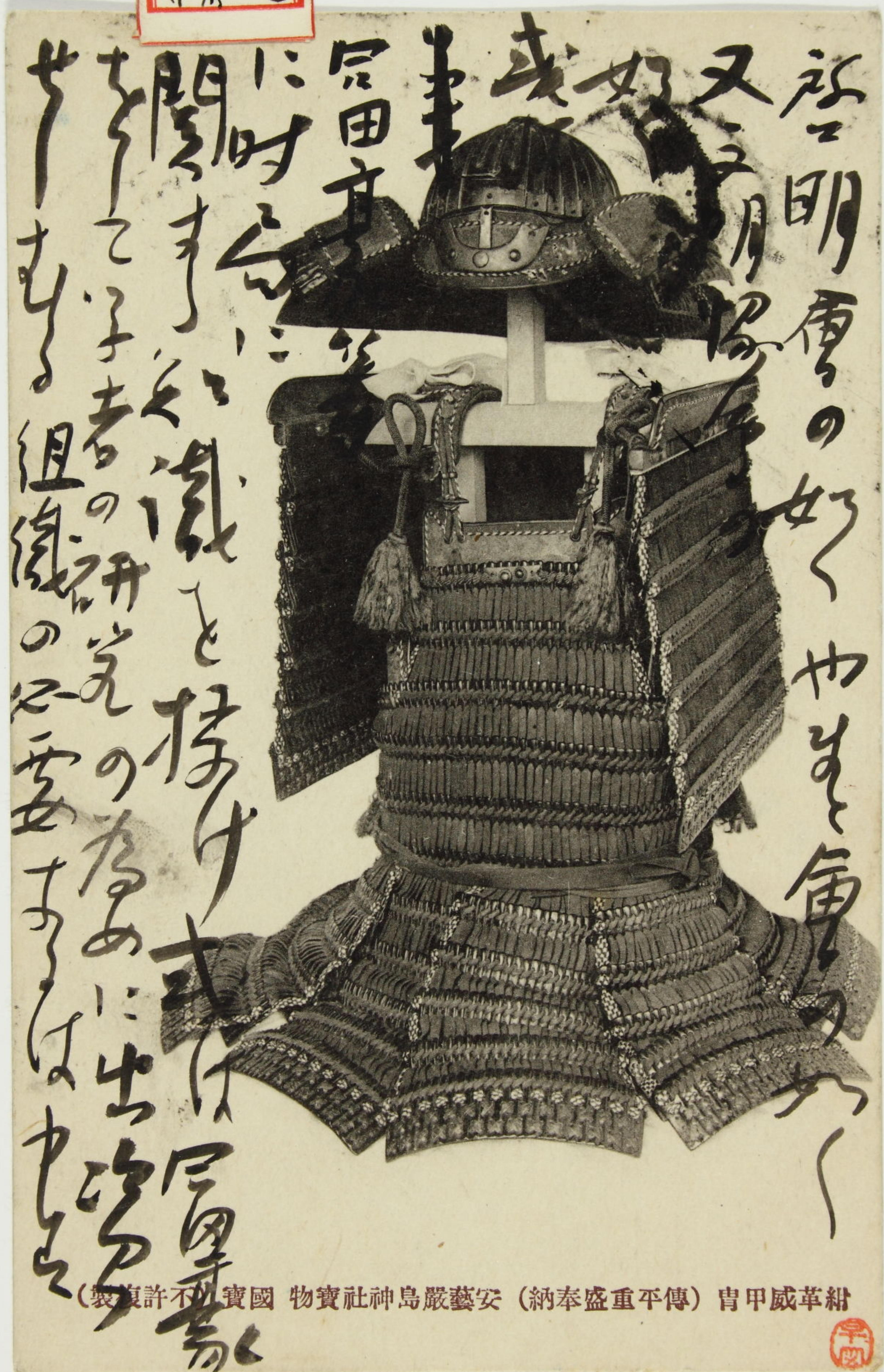
字

牛車
牛車

のち、眞實に服するは
 事にも富直交自身
 もて同時に子術
 つかえ家なきも
 るやいり、持ちます
 上口すく内容
 曲る福すく内容
 は、情好する興行間

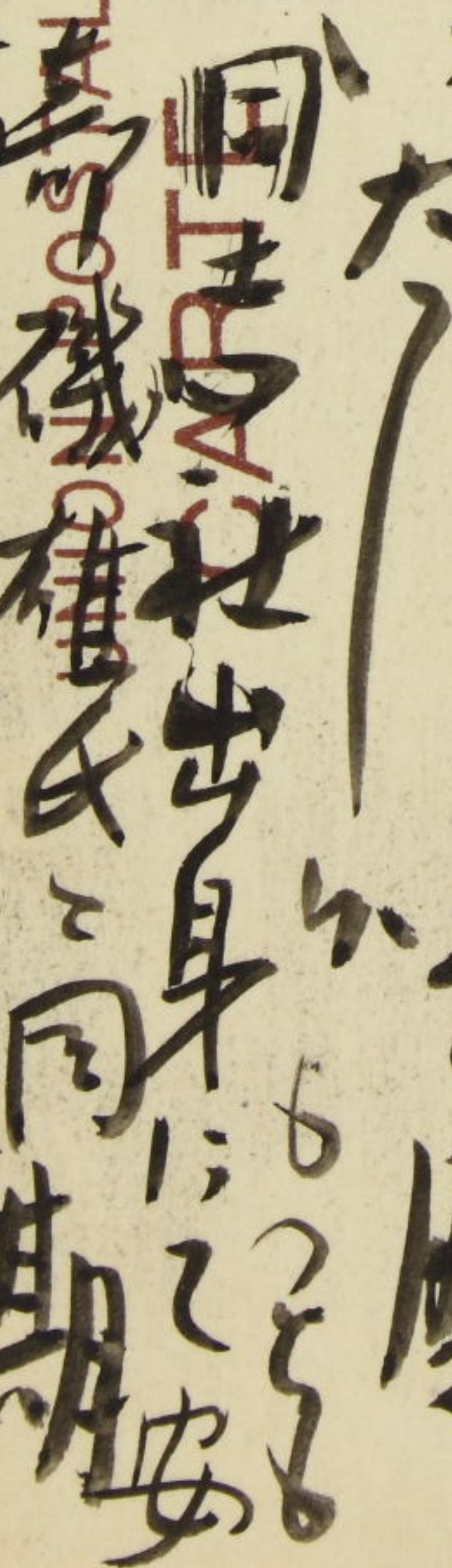
UNION POSTALE UNIVERSELLE
COARTE POSTALE

46 3960 3 (38)



（製復許不）寶國 物寶社神島嚴藝安（納奉盛重平傳）冑甲威革紺





牛車
五
廿五

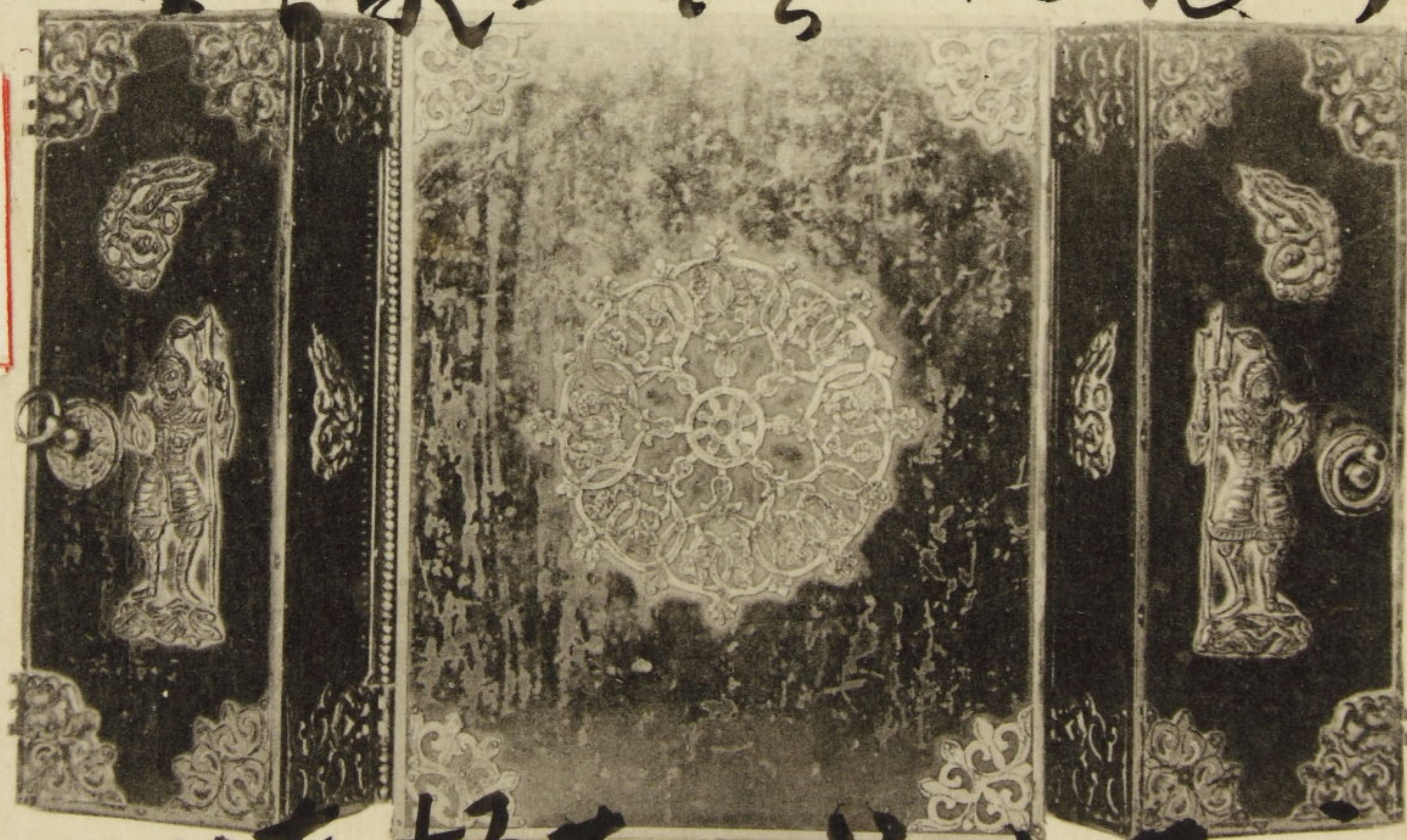
事に信用して
 あつて
 多田大子と
 日向君の清酒も
 にもある
 さくも
 大いものと
 大い
 同社出身に
 安
 磯橋氏と同期

76
3960
3
(39)

備し眞良少得とふ
(體十二) 像佛檀栴赤



前記の大智恵の書
厨具草唐葡萄



高島大智恵の授連が
(製在許不) 寶國 物賣社神島根藝文



郵便便
東京市
芝五軒
市島津
心月四

(丁) 寄

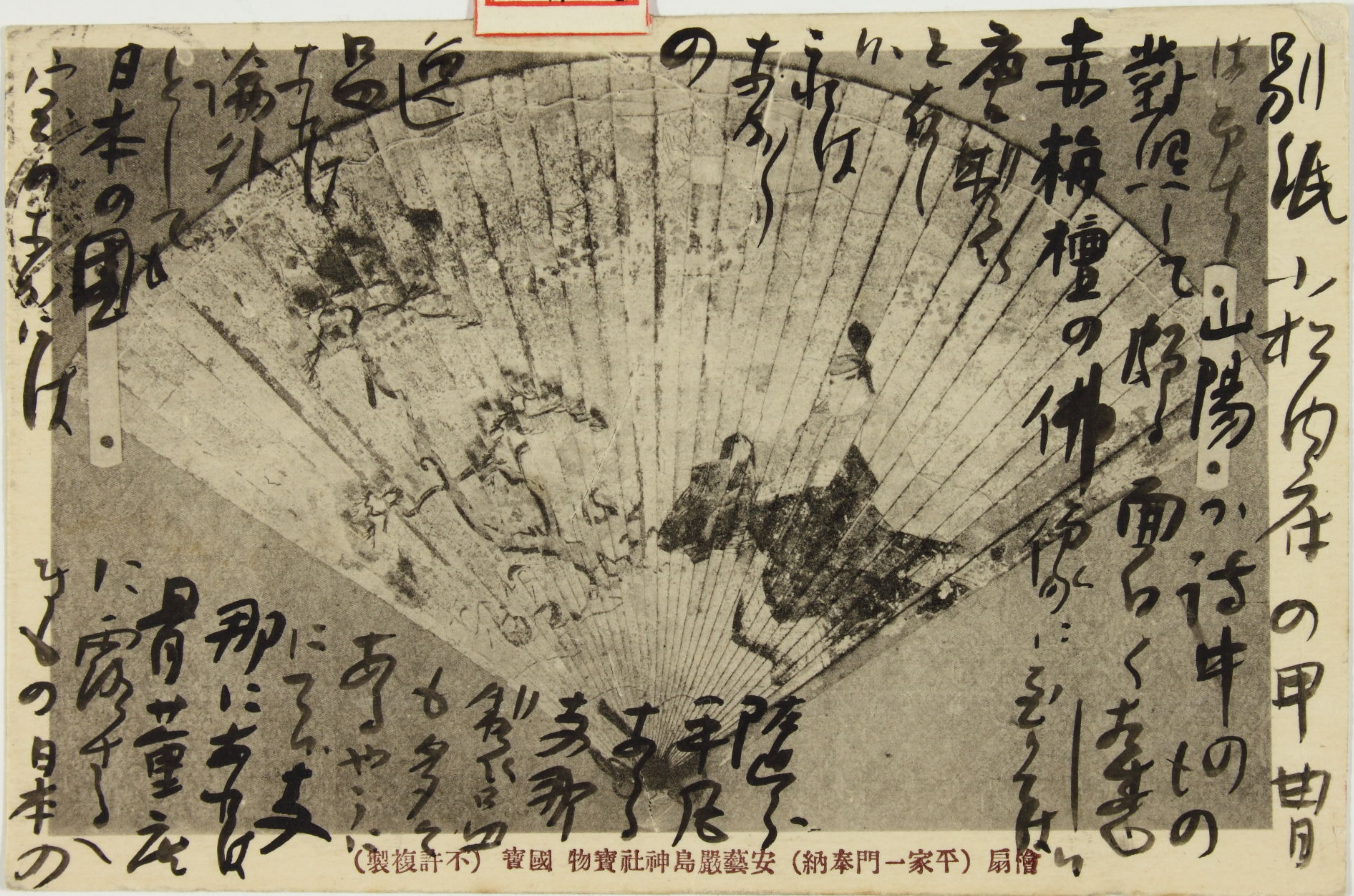
UNION POSTALE
UNIVERSELLE
POSTALE
COFFRE

行發所務社 神島嚴藝安

古刹にあるかたきに
 國宝たるもやもや
 歩を進せ巨責
 も携えて彼地に
 本國人のいふ
 せきうち珠玉を
 石中に拾ひ出す
 人の少りも不審
 のにたゞ
 無知の徒が
 断片を持ちて
 破砕と



46 3960 3 (40)



(製複許不) 寶國 物寶社神島嚴藝安 (納奉門一家平) 扇繪



東宝中史
 五折所共
 市島漢子

きか郵便

昭和十一年四月
 良子

46
 3960
 3
 (41)

UNION POSTALE
 UNIVERSELLE
 POSTALE

絶対におも
 かい先般美術
 社の長あまな
 校の古くに
 書目面白山本
 君の如くあま
 強くやうい
 古器の類は
 往友のあま
 満更だーか



斯うて仁丹石麩の類と交換
しませうとの三回
おく大なるおは
大作

明治初年に
於ける
工子ロサ
を今の
支那に
演じて
博覧
作
本日



妙法蓮華經妙莊嚴太子品第七
今時佛告諸大眾乃往古世過無量無邊不
可思議阿僧祇劫有佛名雲高音宿王華智
多陀阿伽度阿羅訶三三三佛地國名光明
莊嚴劫名喜見彼佛法中有王名妙莊嚴其
王夫人名曰淨德育二子一名淨藏二名淨
眼是二子有大神力智慧大脩菩薩所

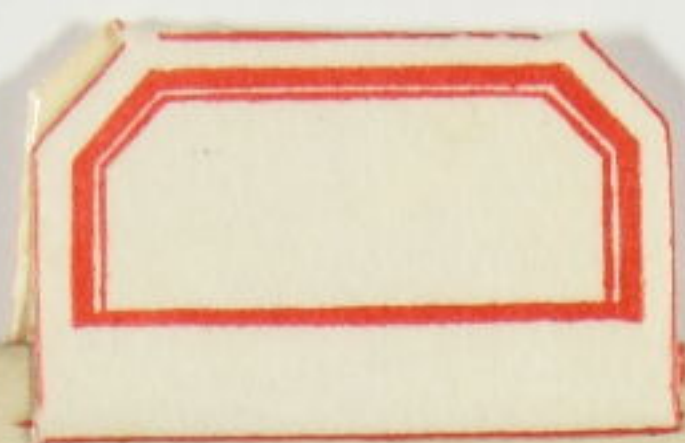
車を子に
出せしめ

術の術美さ
収め

（製複許不）寶國 物寶社 島嚴藝安（康重平者筆）一ノ卷三十三經納門一家平



在りは少川晴陽（李良博）
 物能横（諫山方）とて子安とて
 師王侍りし地獄之に赴き
 まるる仲三程と描影
 せしめら其其他生人のすて
 描影（たゞしの各方面に
 少くも数程出まき
 ことと選将事にて
 心（い）同目錄に記せ
 李良博内外の注をき
 もの十数程と示しおき
 同（今）後の旅客はみ
 少の便益をき
 信（し）ん院政の寝佛
 十輪（の）奥美良皇の類も
 次第に店頭にあけや
 表面に玄昉頭塔ノ
 森ノ全旦也



主に春日日の石佛とあるがびて
 少々の字通、もろーめおき
 か、やは後、おを、して星上
 いた、く、ろ、宿、地獄谷、後
 及、も、往、復、の、一、は、二里、
 可有、之、か、今、見、は、に、が、露、寒、に
 て、か、ろ、段、の、も、上下、し、美
 の、根、に、す、ぎ、樹、の、枝、に、う、つ、
 て、産、に、攀、手、を、ま、み、し、か、こ、も
 少、し、も、疲、ろ、も、せ、せ、ろ、う、畢
 意見、了、配、に、も、く、体、力、の、稍、
 恢復、し、つ、あ、ろ、も、ろ、と、ろ、
 ば、出、神、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、
 よ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、
 も、だ、い、お、長、く、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、
 ち、ろ、ろ、日、ろ、別、お、の、天、地、に、游
 り、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、
 る、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、



詩文にしろはス旅のサリに
 祈りあがり六名数名の僮僕
 を携ふとが通例にあらが小生の
 如く多客多面の旅行も
 所いものなせあ一人佐の随
 行るゝ無きならとも時は不
 つしあやうしむ。其興は
 スにあきなりは。やは歌
 道連あるはさ事もあつたにて
 かこも研究と稱して記録上
 どてめらり人といふには無
 はとりし。少くも何より
 雲崗の石佛寺を訪ぬ
 あらむを。いふもその時、日
 りはとも。人といふは。是れま
 ち。口。旅徒の夕飯も
 すみたり灯下にて取越苦勞
 斗ありあら。二月四日。辛卯
 東城。



46
3960
3
(44)



東二市牛込

東五軒所

五

きかに便

市島謙吉

安
島神所務所



6
10

UNIVERSELLE
FOSSTAL
CANTON

小松家の延母ふと一
ねお山に賣買せら
るそそい子あふれ
におまふ
からほまたたき良の戎市
にやまも出うけと達ア
二個子宝三秘をとと
り此市にて牛の皮にて
作したる靴を賣る店
あふれ
殊希あると密接する
係あふれと
白くたふれ
甚大面

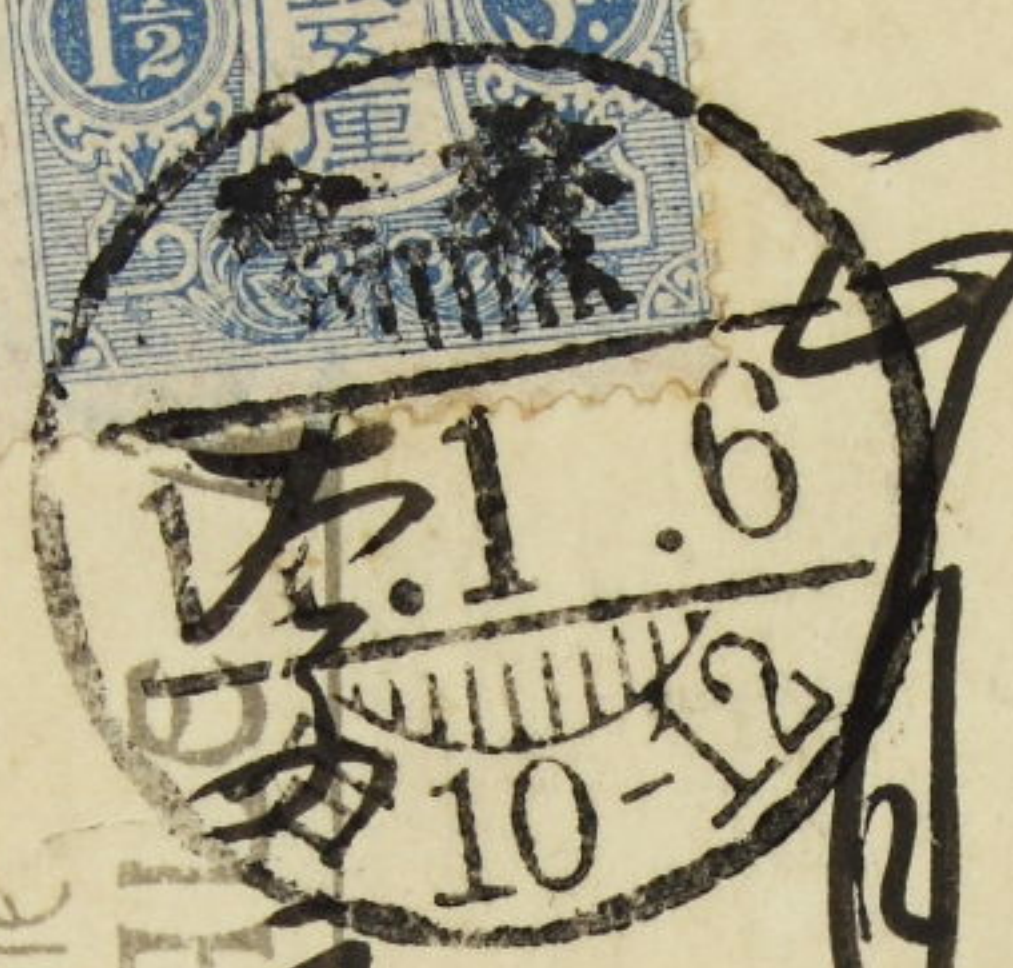
今も正午の光を浴びて
洞の楓の石佛を影に
更には他の影
書きよめ
の虎の
指さすところ
すものあり此所
野々得るに
はく
い
書画
帳とつら
つけ
こころ
始りし一か
あからその揮毫も
指通すも半銭の利得

世の上の
人やお勤
す子に
財あるに
得る要
にも値
（製複許不）寶國物寶社神島嚴藝安（作開年禎嘉）犬狛

3(45)



(下)



郵便はかき

東京市牛込
五軒町五
市島津吉
町

東京市牛込
五軒町五

前便中止たる物のために
其後訂正したるものも
少く、いふに、あら
ぬ、あらぬ、あら
た、あら、あら、あら
供、供、供、供、供、供
行、行、行、行、行、行
ま、ま、ま、ま、ま、ま
さ、さ、さ、さ、さ、さ
評、評、評、評、評、評
大隈侯主能い、大隈
侯主能い、大隈



戎市のうた

無枝ニ戎大黒ハ判半俵鯛ナド又ハ大段今
宮十日戎子宝ト同ジモラツケテヒサダナリ

毎のうまかに鯛

フリ上げて

あきとに

あらのちあはくのはらうつ

あけぬの

あけぬの

の軒

う雪さあひらに

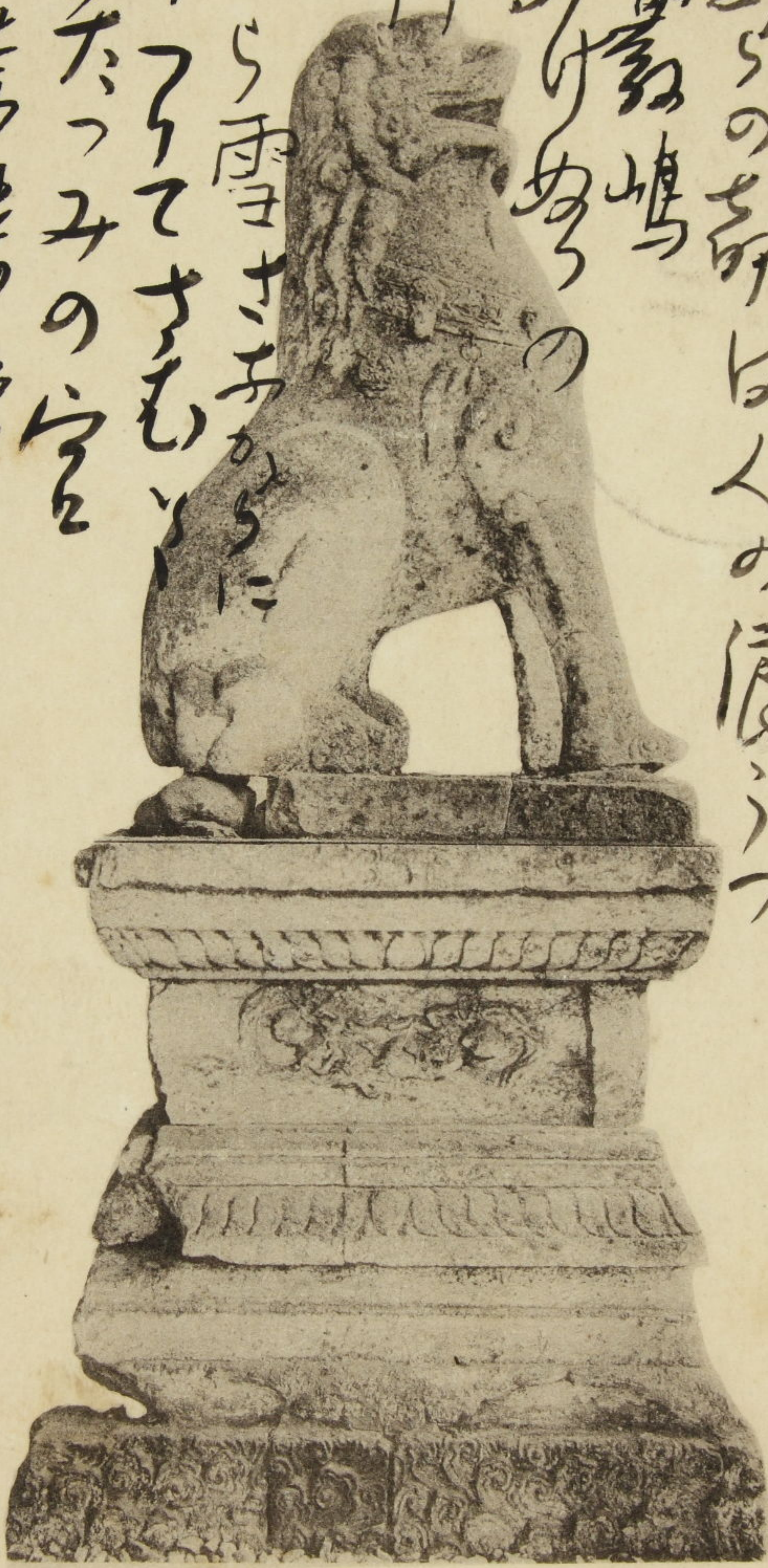
う雪さあひらに

う雪さあひらに

あきとに

あきとに

あきとに



奈良東大寺 狛犬 (國寶石造獅子子)

陳和卿作

3(46)

8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6

市島漢子

白 子

陽

朝夕の如く問はれ
 傳の御來いしと
 と雖も御の如きと
 もたししと
 傳の夫人の如きと
 しと傳いしと
 博すを御はれ
 いしと問の如き
 づの上げしと
 つける
 いしと傳の如き
 まいしと









友に上清の

玄防新塔の

本林瓦多

世傳三玄防新

塔トイフニ或ハ玄

防以新ノモノナルベキ

ヲ知ラサルナリ個ノ

石佛ノ在スルヲ

以テ最モ注目ニ

値スルモノナリ





Fb 3960 3 (50)

